

女王陛下の

降

伏

蛸壺屋

18禁

デッドオアライズ編

女王陛下の降伏 デッドオアアライブ編

女王陛下の降伏

《デッドオアアライブ編》

物語のための最低限の初期説明

その昔、マティオンという大陸があり
その住民は『マティオンの民』と呼ばれました。

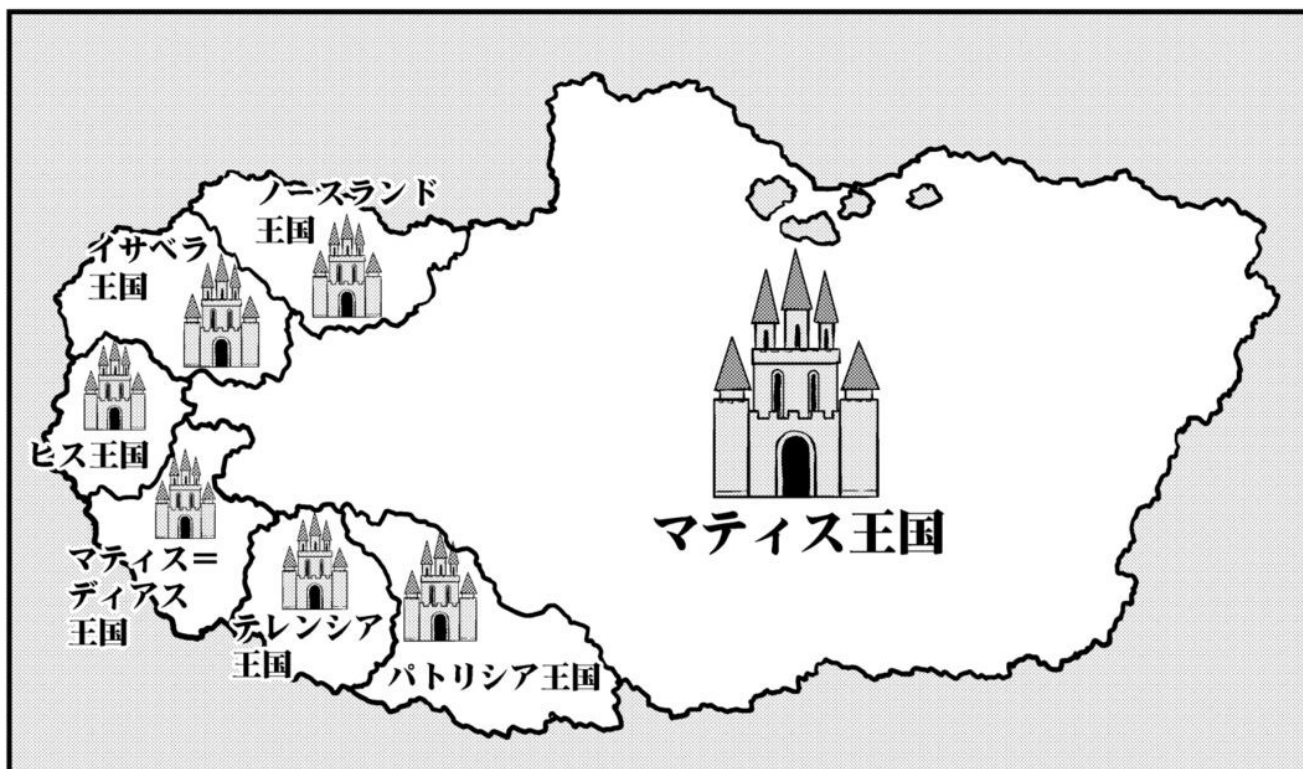


蛸壺屋

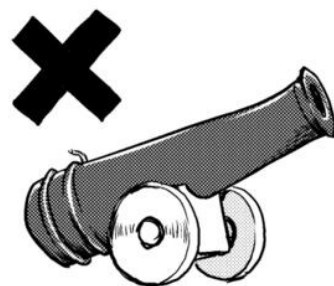
その後マティオンの民は、初代マティス王によって統一されマティス王国となりました。



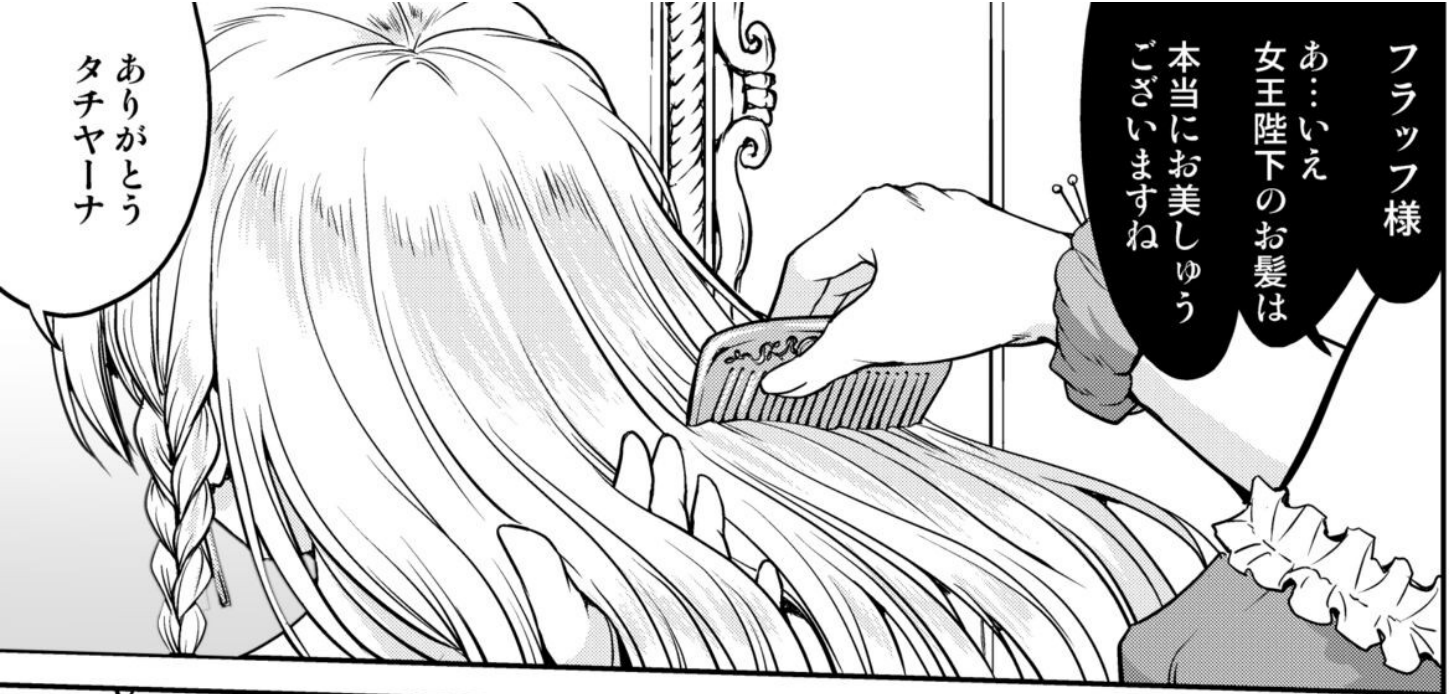
やがて文明の発展によって社会が複雑化し、民度も高まるに従い人口の多い地域はいくつかの小王国に分裂しました。



尚、長らく平和が続いたのでこの世界では火薬を使った武器が発展しませんでした。

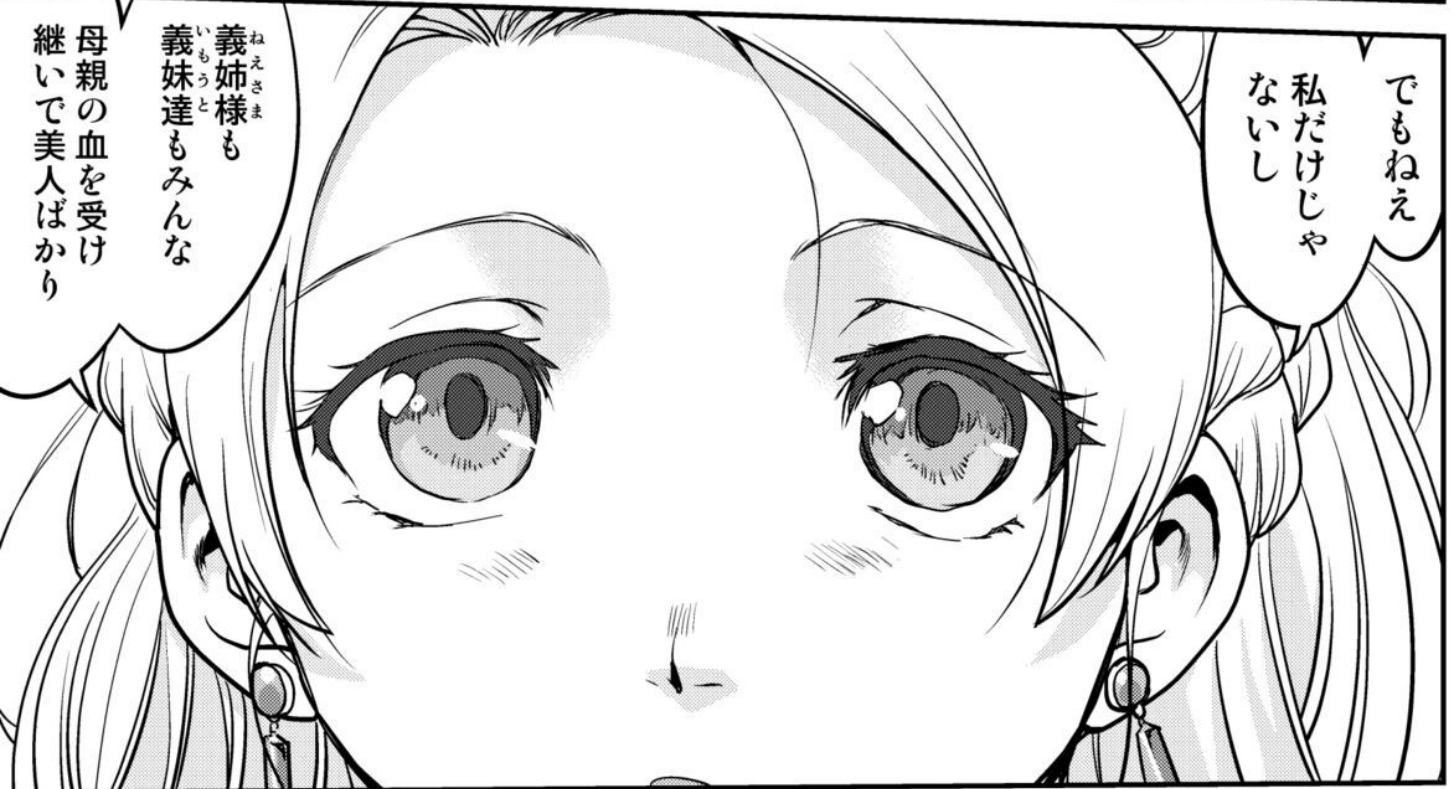


以上、説明終わり



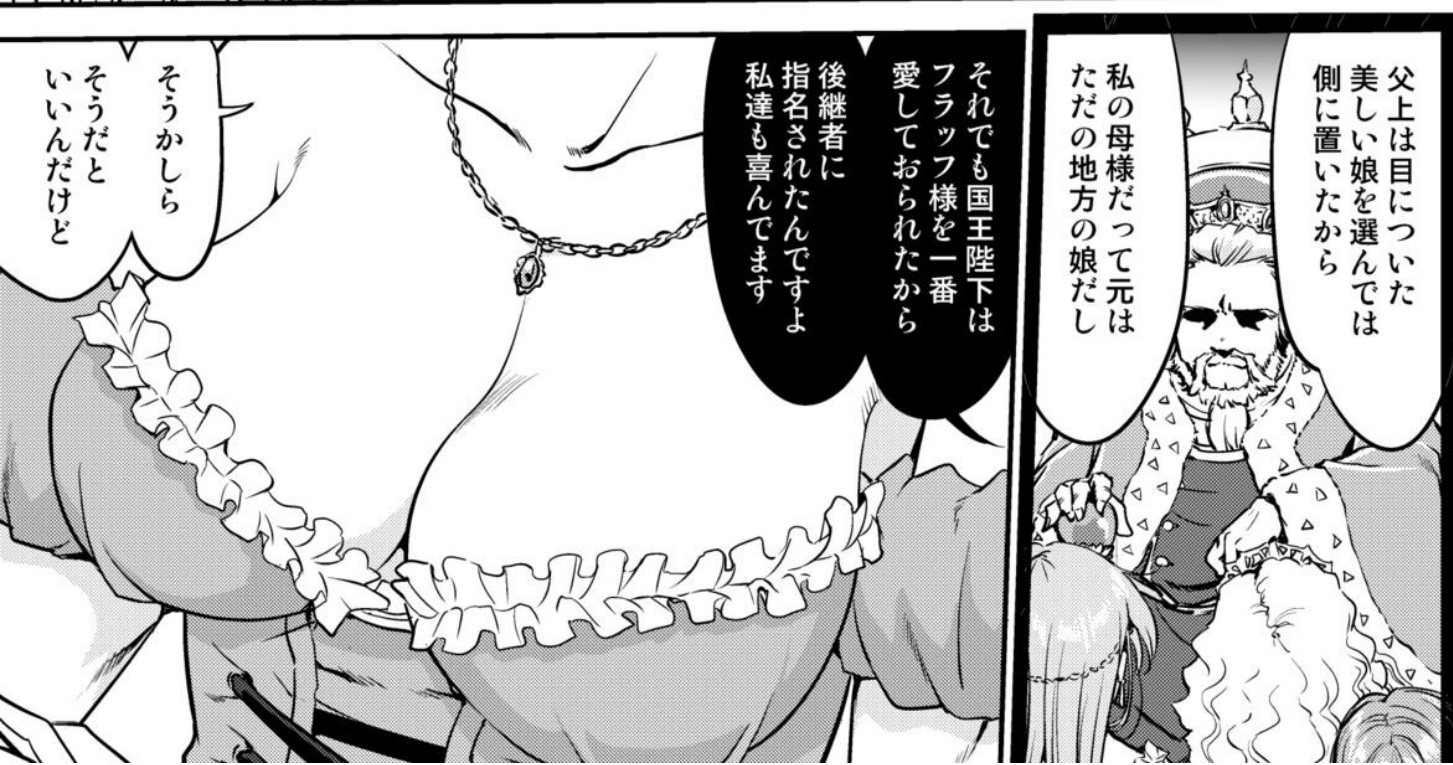
ありがとうございます
タチヤーナ

フラッフ様
あ……いえ
女王陛下のお髪は
本当にお美しゅう
ございますね



でもねえ
私だけじゃ
ないし

義姉様も
義妹達もみんな
母親の血を受け
継いで美人ばかり



そうかしら
そうだと
いいんだけど

それでも国王陛下は
フラッフ様を一番
愛しておられたから
後継者に
指名されたんですよ
私達も喜んでます

父上は目についた
美しい娘を選んで
側に置いたから
私の母様だって元は
ただの地方の娘だし

それにしても
このドレス
女王には短すぎ
るわよね

先代王妃も着てた
伝統的なタイプじゃ
ダメなのかしら

宰相が仰ったけど
本当にこんなことで
民が親しむの？



親しまれる
王室への
転換ですか？



ハイ
恐れながら
先代陛下の
奢侈浪費により
民への負担が続き

王家への不満は
久しく高まって
おります
思い切った手を打つ
絶好の機会です



グレブス宰相
私は政治は
分かりません

父の信任が
厚かったあなたを
頼りにしています

先代に続いて
今後も王国を
支えてください

もちろんです
女王陛下



パトリシア新国王
フラツフ・パトリシア

私は陛下の治世で世の中が良くなることを願っています
いつてらっしゃいませ

この格好でパーティなんて
恥ずかしいわ

女王陛下
お供します

近衛長官兼団長
タイニー・パトリシア

タイニー義姉さん
凛々しいです

そうか？
肌の露出多いし

背中に
女王の名前まで
彫られたぞ…

宰相は何を
お考えなのか…
これで近衛団に親しみ
なんて増すのか？

あらケイン
久しぶり
そんな畏まら
ないで大丈夫よ

女王陛下！
少しよろしい
でしょうか

フラッフ
近衛長官のこと
もう一度考え直して
くれないか…

長官職は代々ウチの
シュテイン家から
出すのが伝統だったし
父も大層怒ってるよ

ケイン
そのことはもう何度も
話し合ったはずよ

そういう
何となく続いてる慣習に
民の不満が高まって
変えなきゃいけないの

それにケイン
騎士学校では私が
首席だったし

ああ！
確かに君は飛び抜けて
優秀だったよ！
でも座学と違う
実戦や戦争じゃ
男の力が必要だ！

んー…はて
剣術でもケインや男子に
負けたことあったかなあ？

ケイン 落ち着いて
今は平和な時代よ

戦争なんか
もう何百年も
起きてないわ

310年です
女王陛下

そう！

もう戦争の経験が
ある人なんて
どこにもいないの

そもそも
戦う「相手」が
存在しないし

今では王様達は
定期的に集まって
何でも話し合い

国は貿易で繋がって
民衆も自由に移動し
国境なんてあつて
無いようなもの

戦争なんて
人々が強欲だった
昔の出来事よ

だから近衛長官と
言っても閑職だし
シユテイン家の名譽は
他で埋め合わせるから
パーティー楽しんで行って

誰の入れ知恵かは
大体分かっているよ
フラッフ

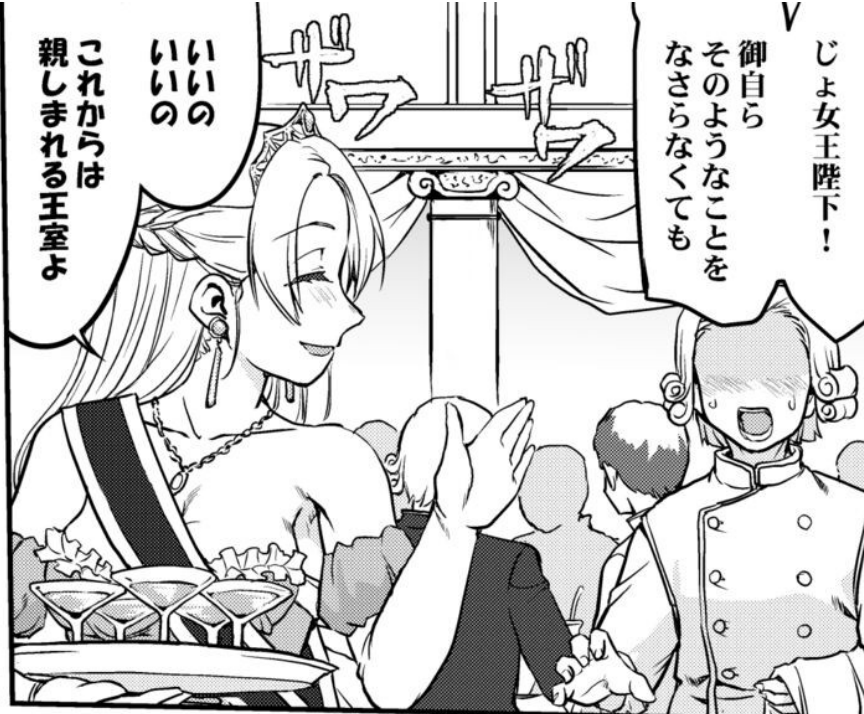
友人として忠告するけど
グレブス宰相を
信用し過ぎない方がいい





お飲み物など
いかがですか

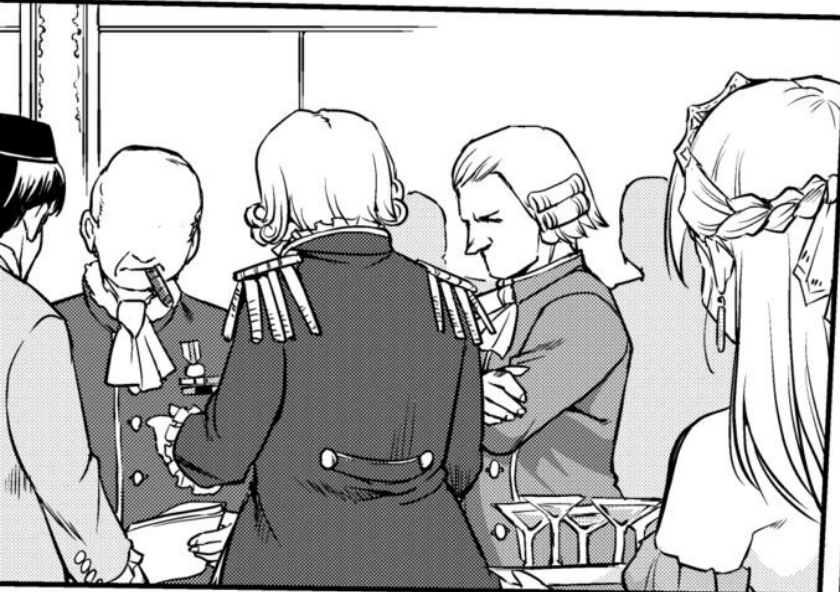
グレブス宰相
大臣の皆さん
今日はよくおいで
下さいました



これからは
親しまれる王室よ

いいの
いいの

じよ女王陛下!
御自ら
そのようなことを
なさらなくても



今大事な
話をしてますので
少し待っててください

ああ陛下
これはどうも
いただきます

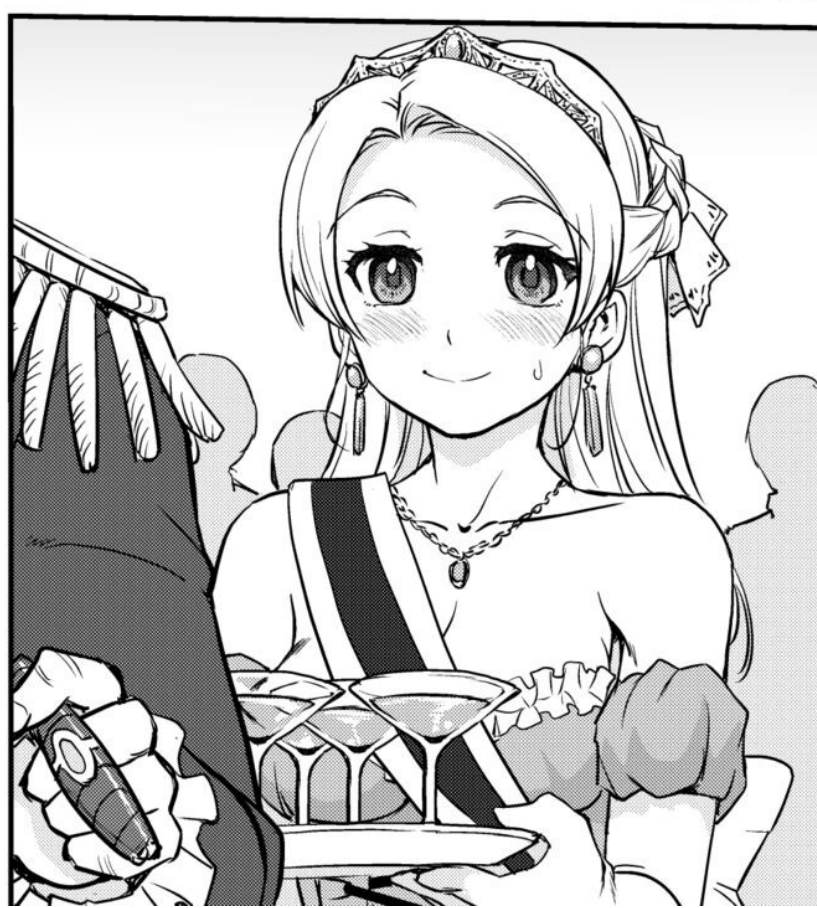


宰相がお呼びです
今すぐ来るようにと

うーん...なに?
まだ全然
早いじゃない

陛下

陛下!!



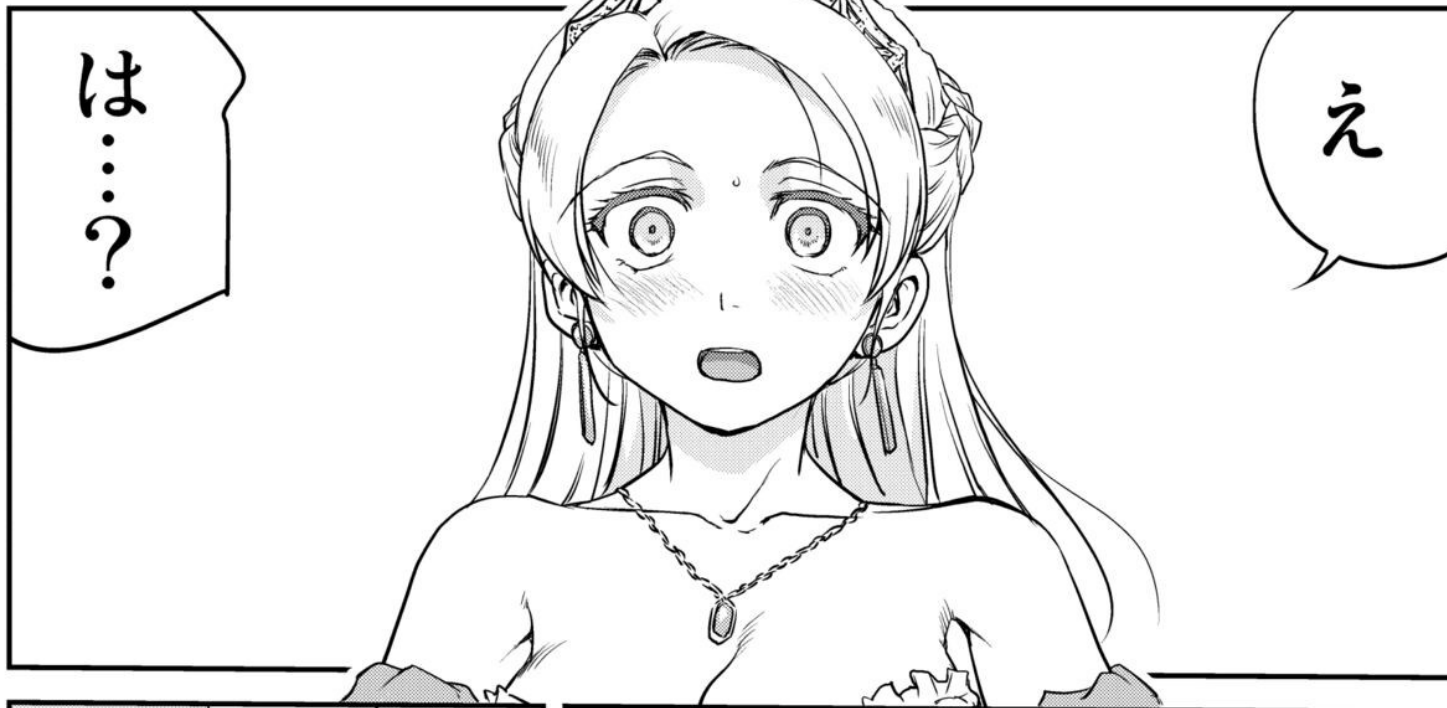
隣国マティス王国からの

降伏勧告が届いています



え

は……？



いやいや降伏も何も

マティスと争ってなんかいないじゃないですか

使者が手渡したマティス王の書簡です分厚いですがお読みになりますか

いきなり相手にこんなのを読めとは非常識ですね！要点だけ話して下さい



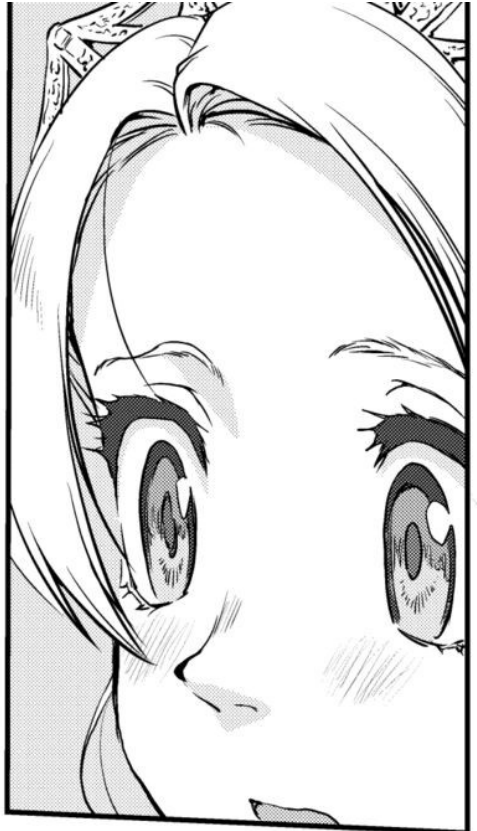
書簡の大部分はマティス王国の歴史記述です
『ここマティオン大陸は千二百年前にマティス王国によって統一されていた』

『今でこそ小国が分離独立してるものそれは正統な状態ではない』と言っています

そして現在『隣国パトリシアの政まつりこは腐敗しその奢侈と重税によってマティオンの民を虐待している』

よって『パトリシア王家は退位し王位をマティス王国に返上すべき』とあります





せ 千二百年前に
自分の国だった…って

バカじゃな…



その進言に従って
側近が阿諛追従の輩で
固められてしまったとも

老マティスはここ数年
北方辺境部族の魔術師を
側において重用し



これは
噂ですが



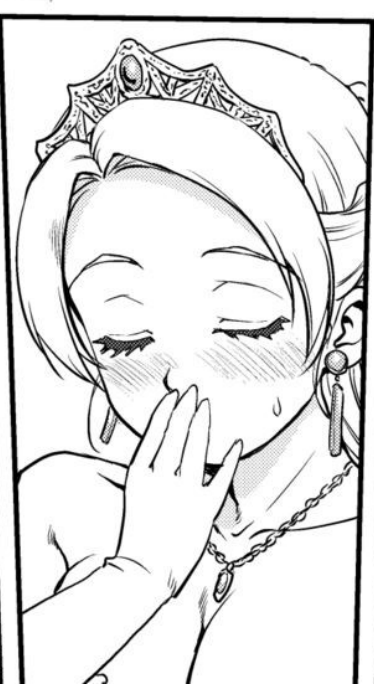
マ：マティス公は
すでに在位数十年にも
なるはずです

グレブス宰相
どうして
突然こんなことを
言い出したんでしょう



宰相！ こんな無礼は
無視でいいと思いますが
いっそ破り捨てて
送り返しますか？

そうです
今ほどの国も
大きな常備軍など
持ってません
本当に攻めて
など来ないでしょう



毫碌して
頭がおかし…

何ですか…いい歳して
野蛮人なんか煽てられて
血迷うなんて

待って下さい！
事を荒立てる
必要はありません
返事は出しませう

『民のことはご心配なく
これから私フラツフの
治世でよく面倒を
見ていくつもりです』

宰相
どうでしょうか？

いいでしょう
陛下が望まれる
のなら

無礼や
要求には触れず
御返事として
そのまま伝えませう

女王陛下
いきなり災難
でしたね

まったく

若い先短い男の
考えは分かりません
もう子供を増やせない
から土地を拓げたく
なるのでしょうか？

見て
タイニー義姉さん

なんて綺麗な空

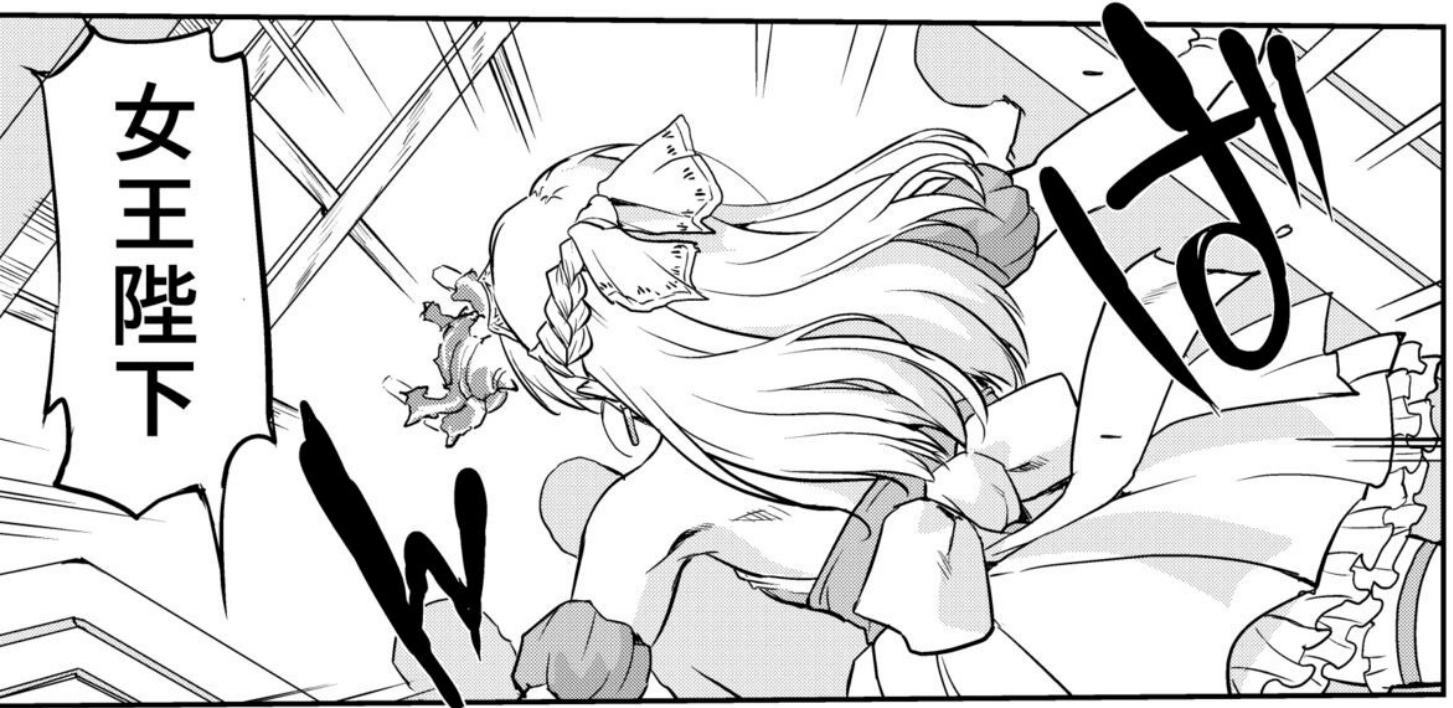
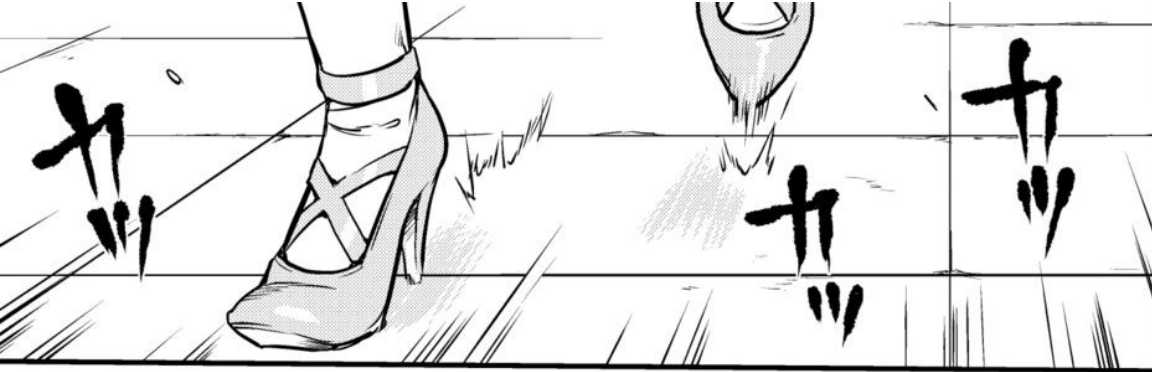
私はこの平和で
美しい世界を
愛してますし

皆にも幸せで
いて欲しい

争いなど起こる
はずがありません

これまでも
これからも

3か月後



恐れながら件の魔術師は極北に住む狩猟部族フューリアス(獰猛な人々)を雇い入れ



マテイスの軍隊が国境を超えて攻めてきたというのは本当ですか!

どういうことです 軍隊なんて居ないんじゃないですか!?



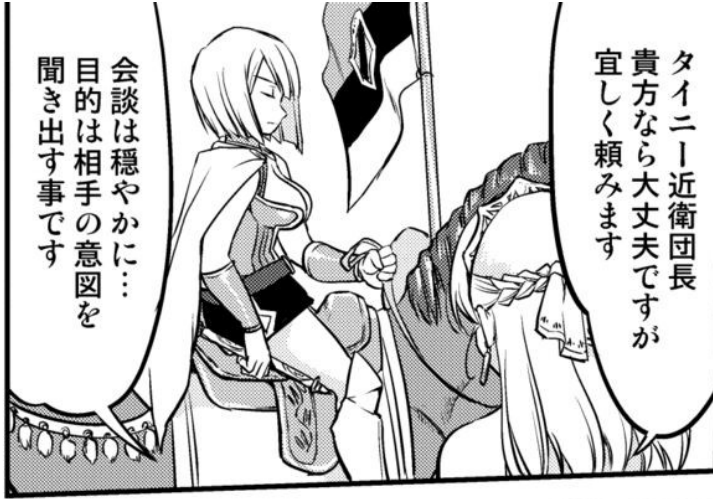
どうするのですか 戦って追いつ返すのですか?

落ち着いて下さい陛下 その対策に今こうして集まっています

遺憾ながら先代国王が予算を理由に軍を解隊し 我国には近衛兵くらいしかおりません

しかしマテイスの行動は明らかに暴挙です 正義はこちらにあります

ともかく敵の意図を知るため正式な使者を出し その間に周辺国にも協力を求めましょう



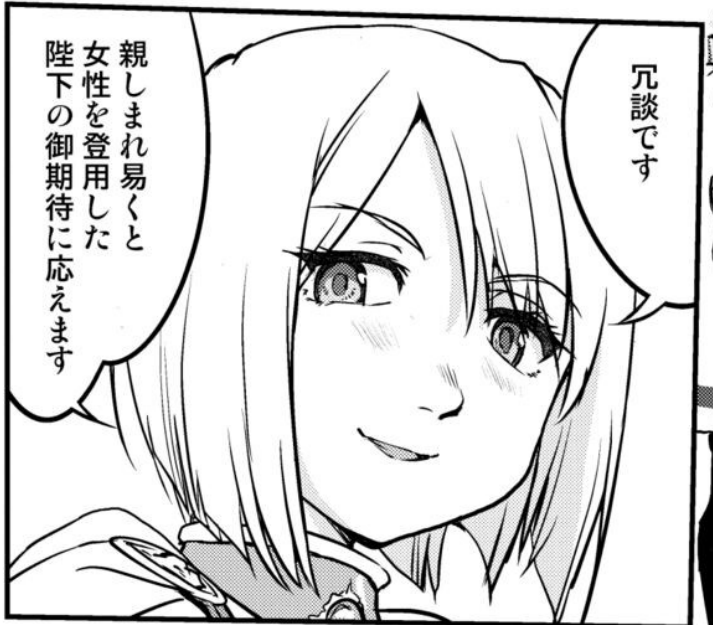
タイニー近衛団長
貴方なら大丈夫ですが
宜しく頼みます

会談は穏やかに…
目的は相手の意図を
聞き出す事です



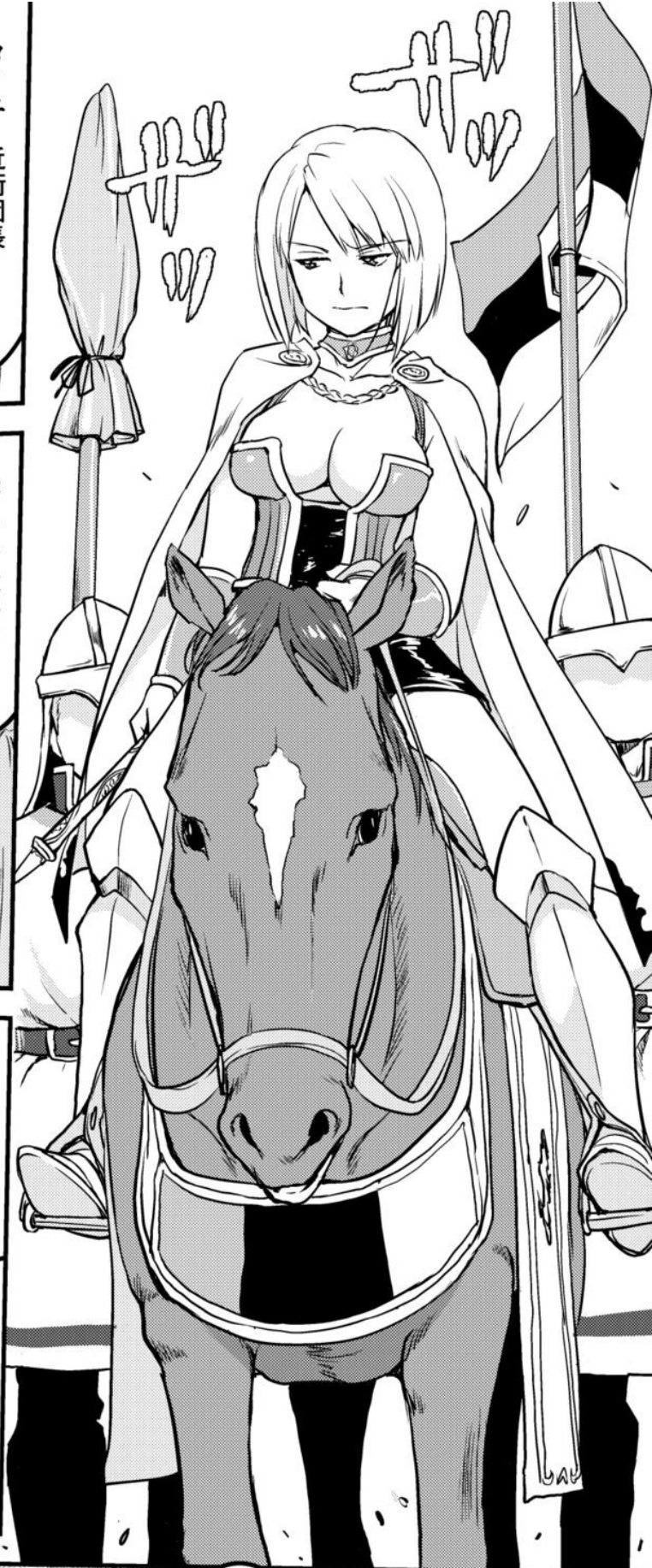
ふざけた詭弁を
弄してきたら
その場で首を取って
やりますよ

ダメ!
ダメ!
ダメ!
話合いです
話合いです
話合いです



冗談です

親しまれ易くと
女性を登用した
陛下の御期待に応えます



ひどいな…

蛮族め
何てことを
しやがる…

住民はどこへ
行ったんだ

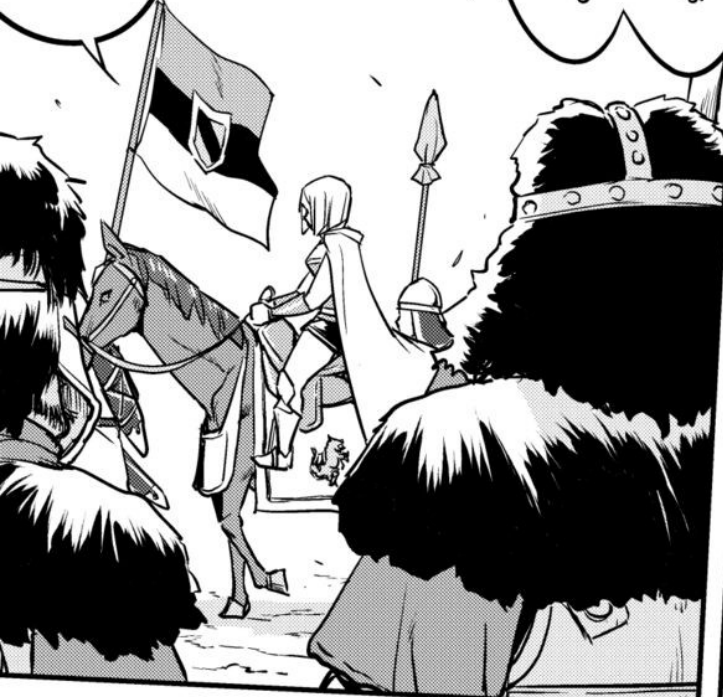
あれは…我國の
国境警備兵

これは
大問題になるぞ



目を合わせるな
何かしてきても
反応するな

このまま
敵司令部まで
通り抜ける



どいつもこいつも
2メートル近くて
体が異常にでかい…
これが北の
フューリアス族か

私はパトリシア王国
フラッフ女王より遣わされた
近衛団長タイニー!!

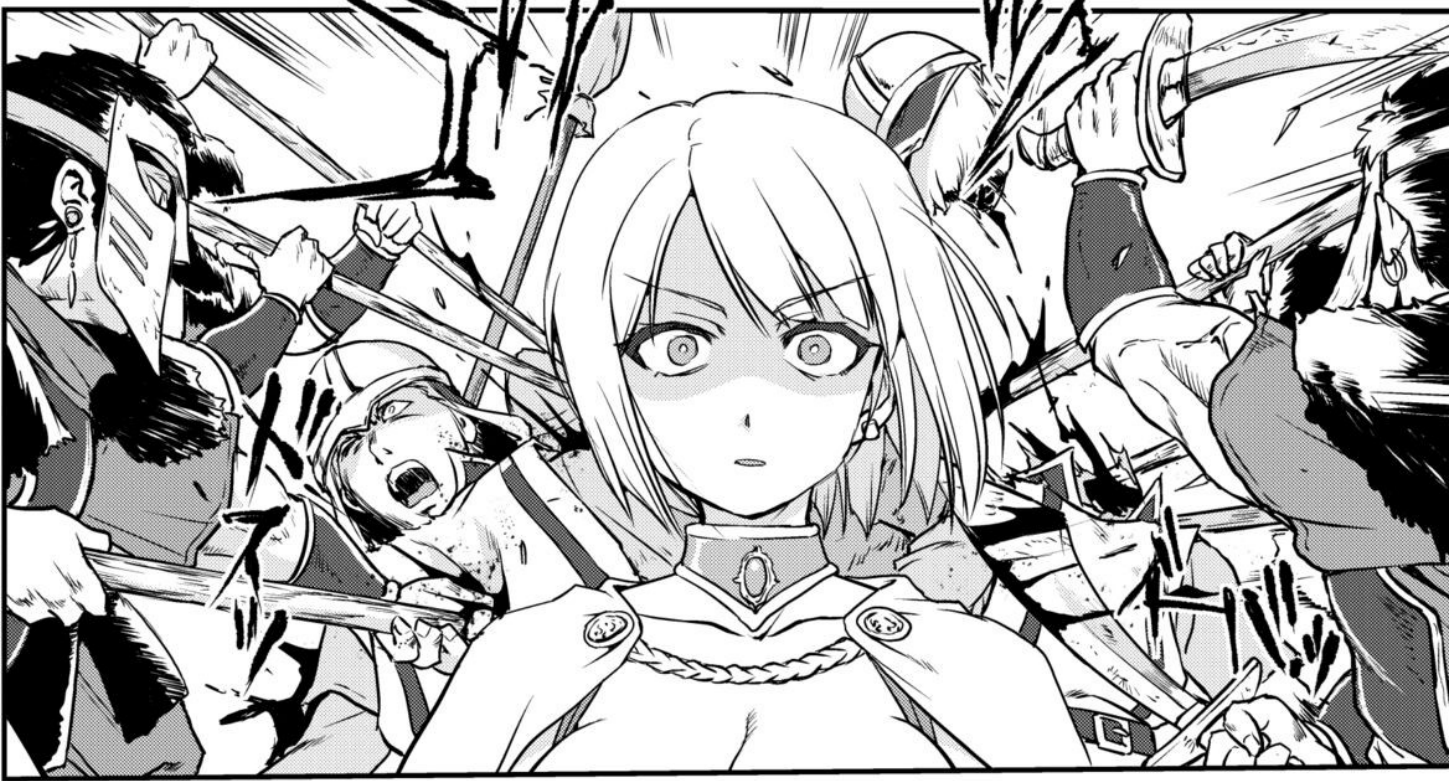
マティス王国軍の
司令官に会見を申し込む!!



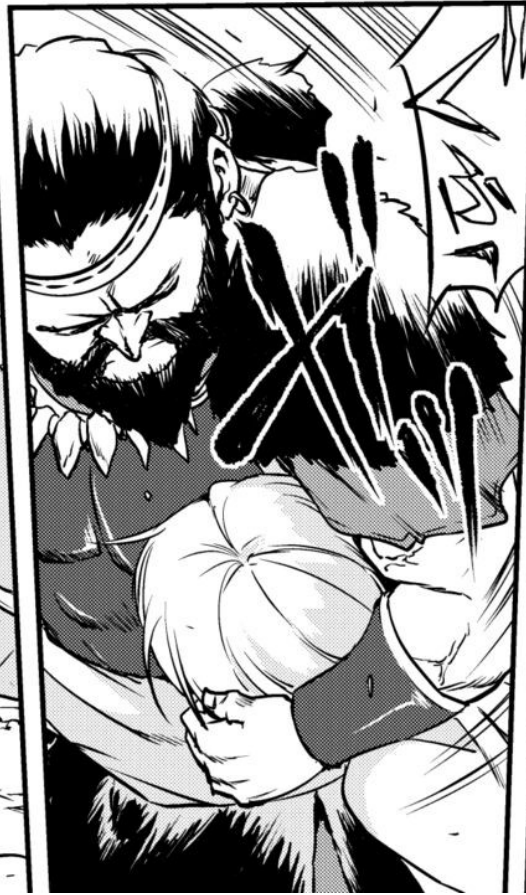


司令官の元に
案内しろと言っている！

言葉が
分からないのか？

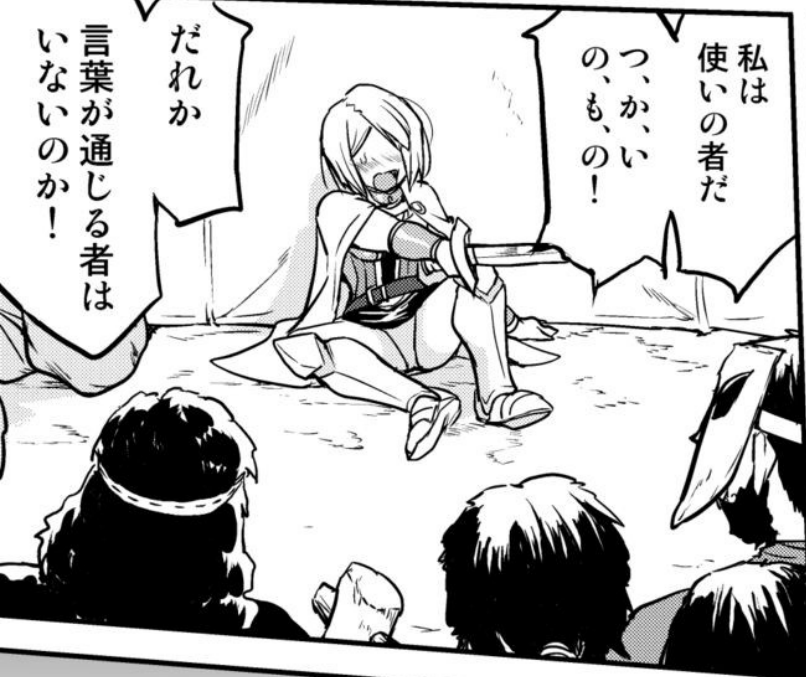


クツ
離せ！
無礼者！





ビクともしない...
何て力だ



だれか

言葉が通じる者は
いないのか!

私は
使いの者だ
つかい
のもの!



クツ



渡せ



どけ



敵わない...

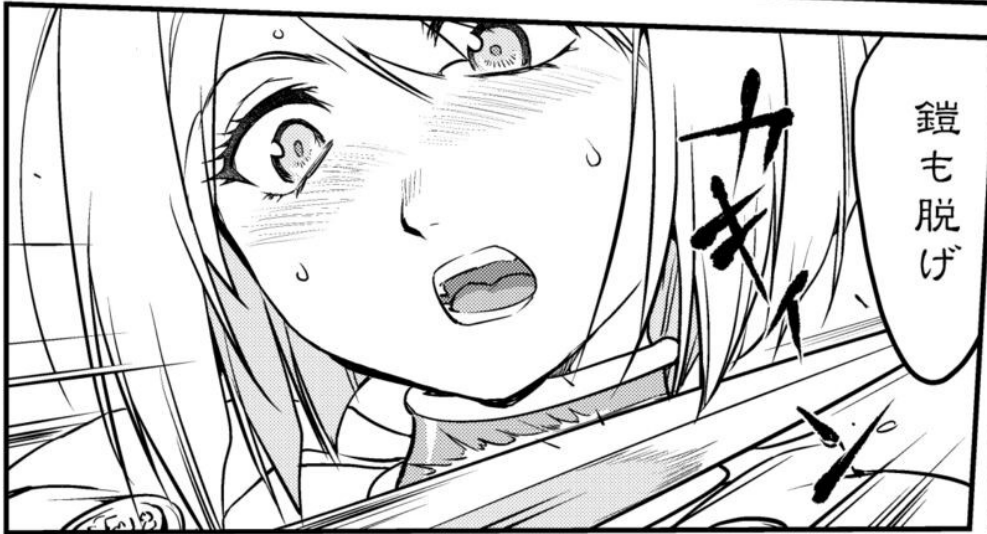
とても



鞘とベルト
ごとだ



な...
何メートル
あるんだ
コイツ...



鎧も脱げ



服もだ





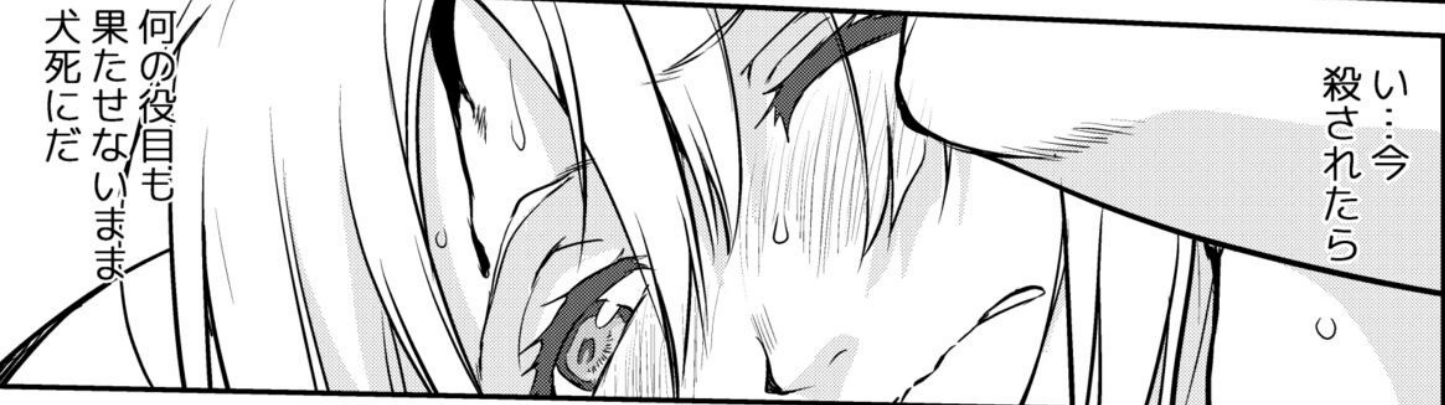
しやべるな
続ける



もう
これ以上は…



あの…



い…今
殺されたら

何の役目も
果たせないまま
犬死にだ



まだ生きてる
従者もいるかも
しれない



この場は…
たとえ
犯されても
殺されない
ことが大事

自分で着ける



これ着けたら

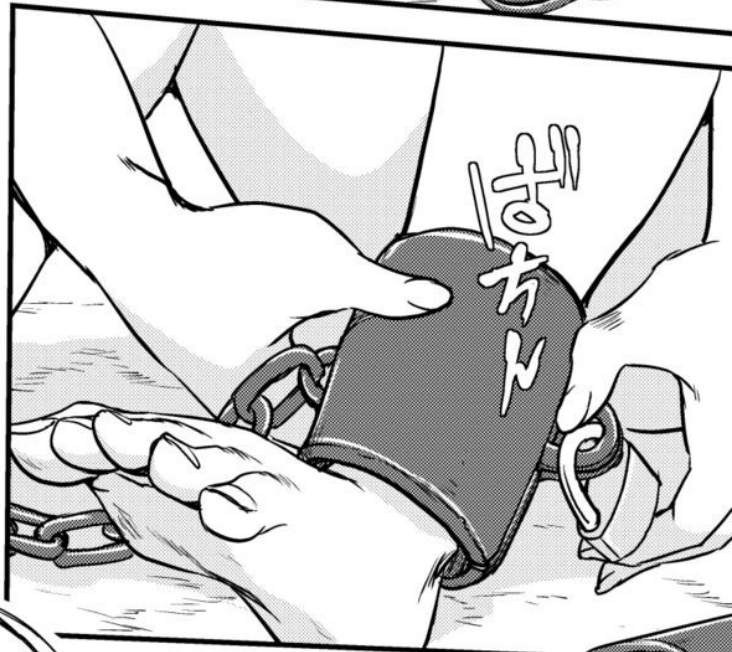


交渉も
出来なくなる...

力一杯引け
もつとだ



ほう
かん



違う

手は後ろで回せ



ふー

しゃん



ほうかん





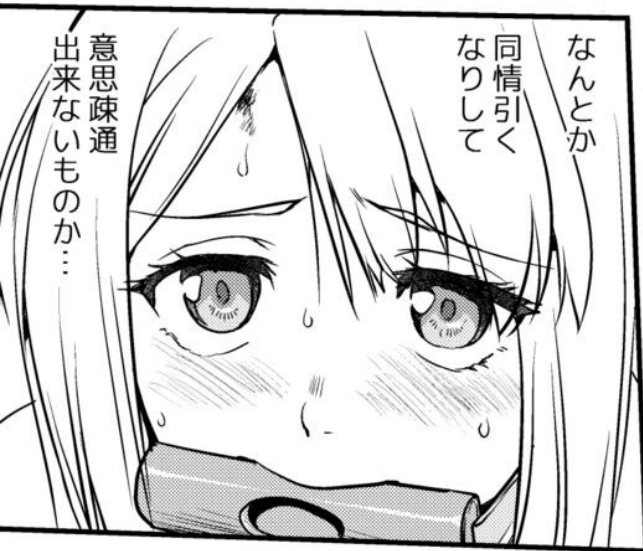
大丈夫：

殺すなら
わざわざこんな事
しないはず



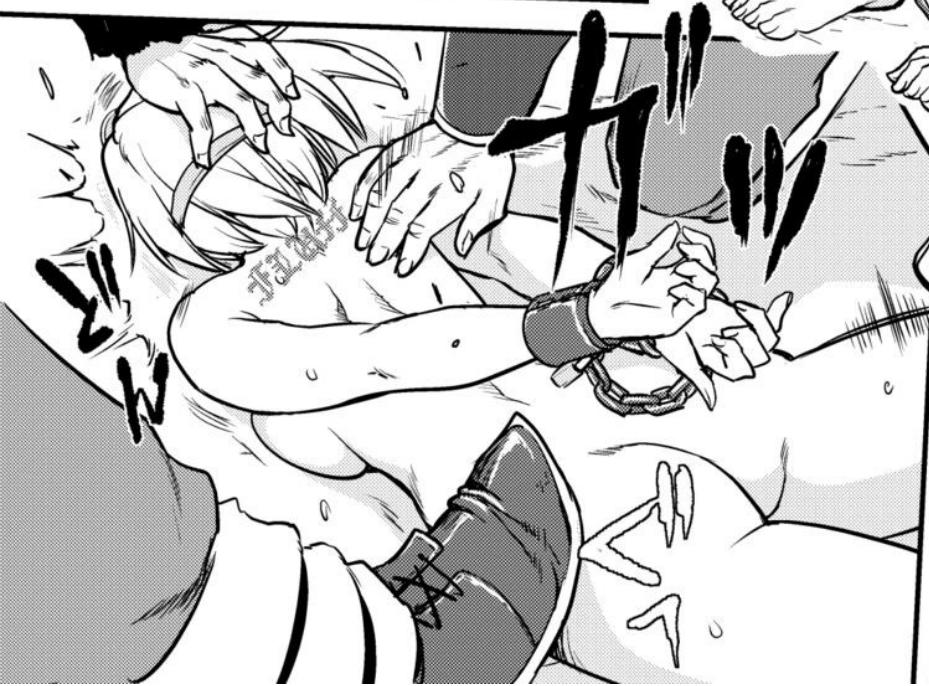
この男がリーダー？
部族の王？

幸い言葉が
通じるようだ



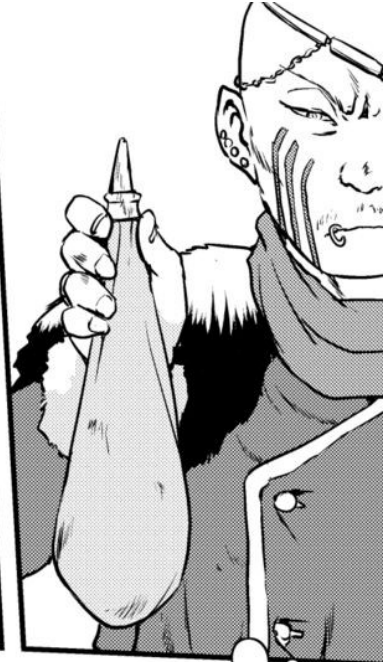
なんとか
同情引く
なりして

意思疎通
出来ないものか…



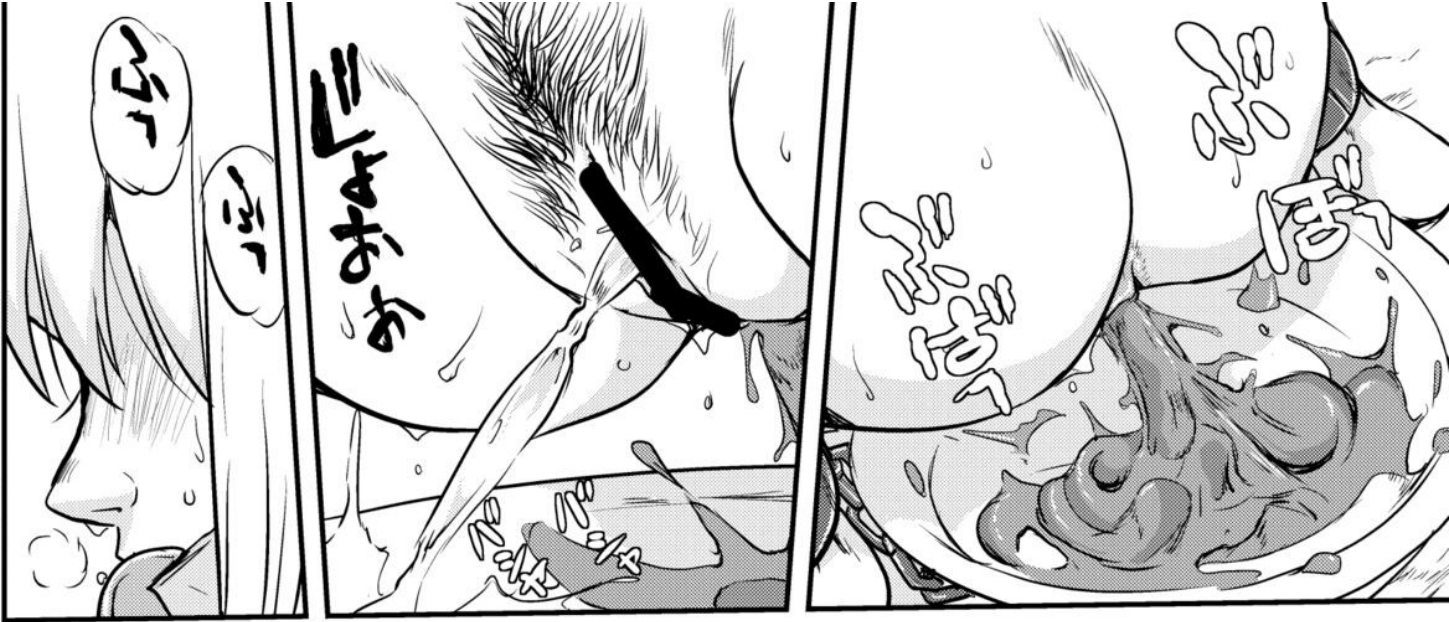
『女の躰け』をやれ

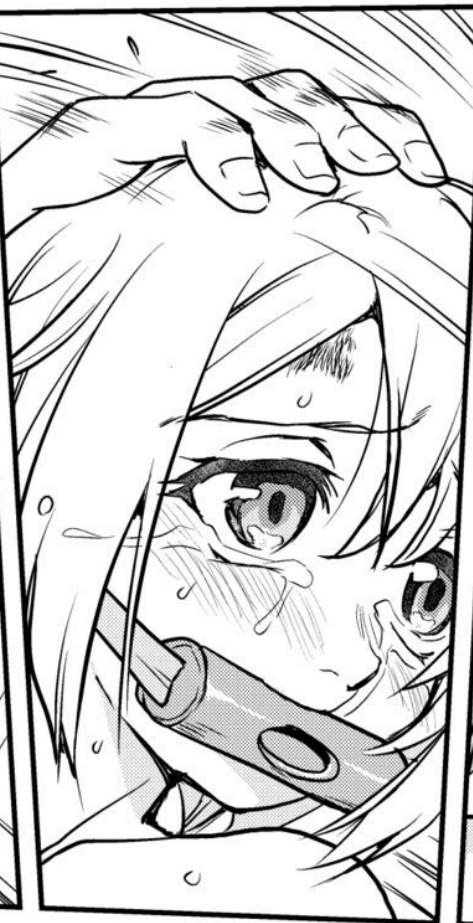
ま…
待って！

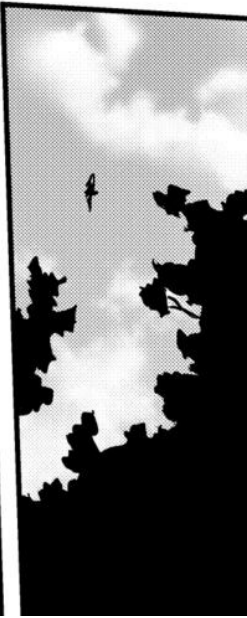
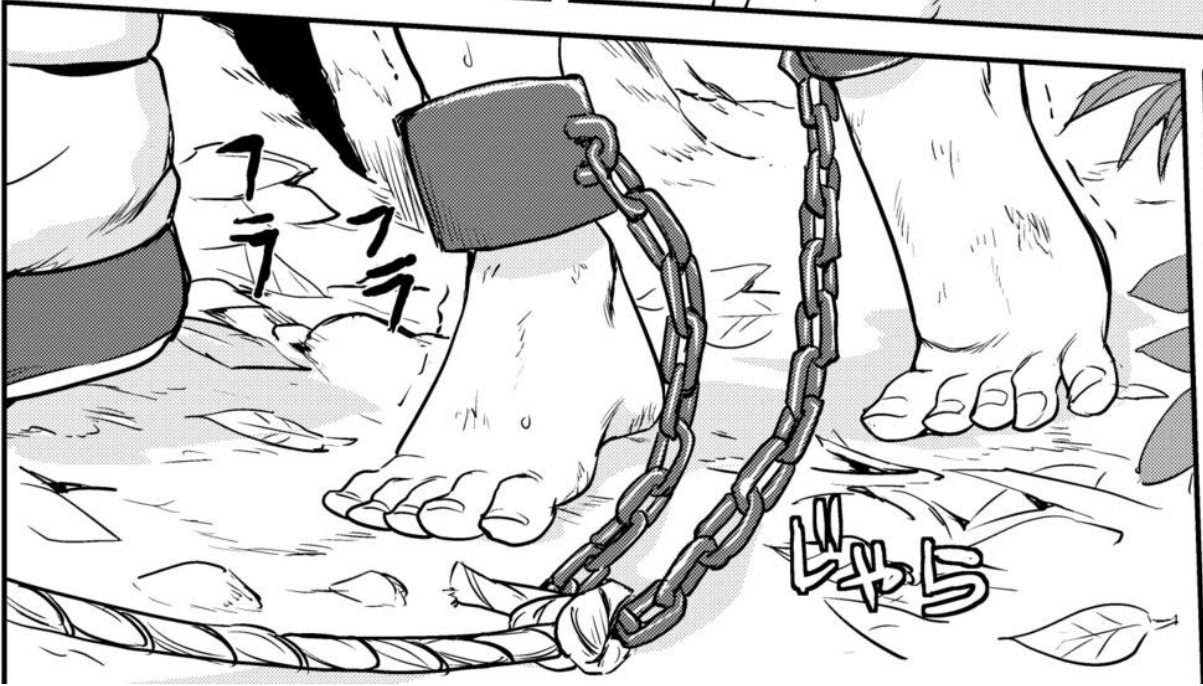
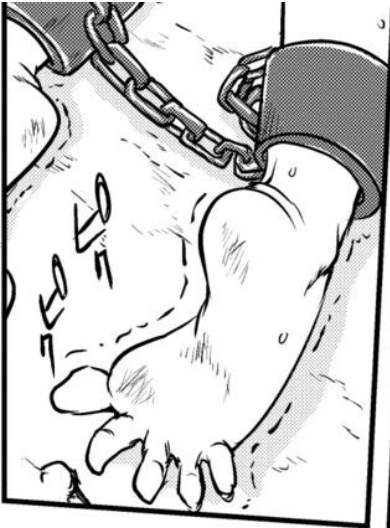


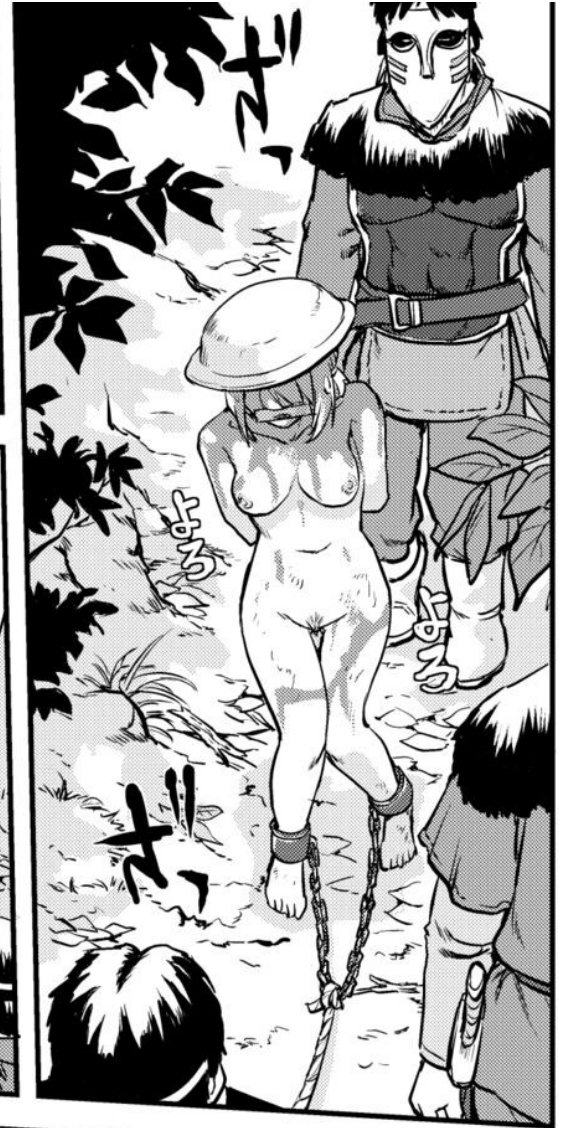
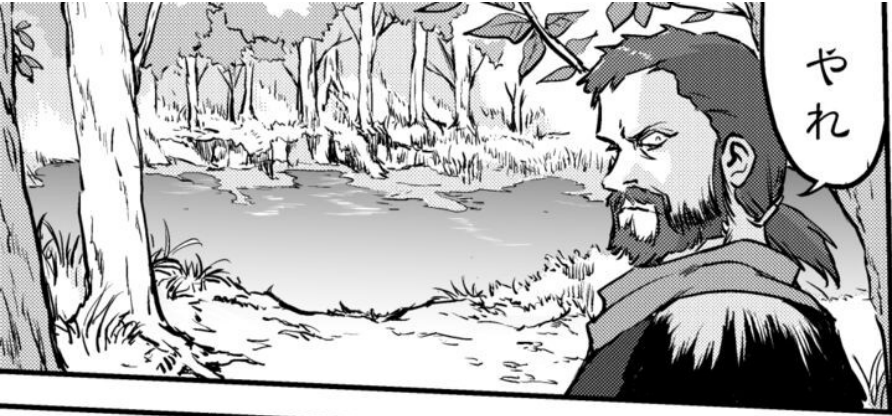
はははは
踊れ 踊れ

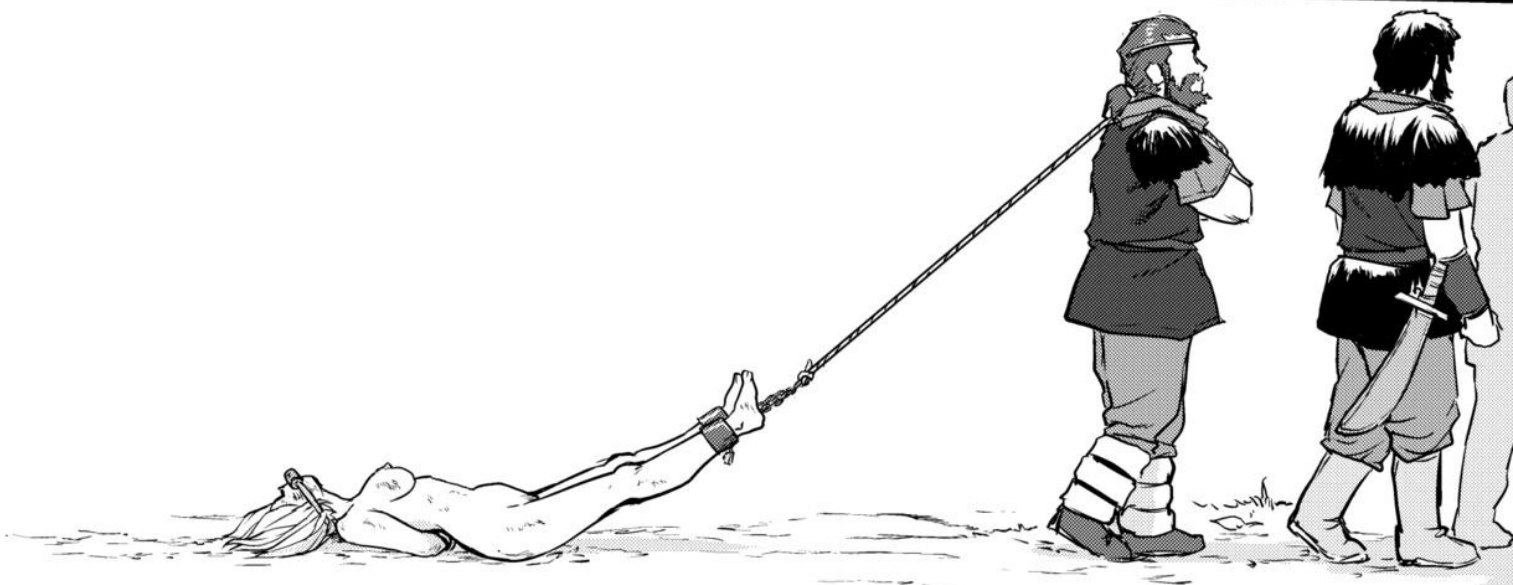
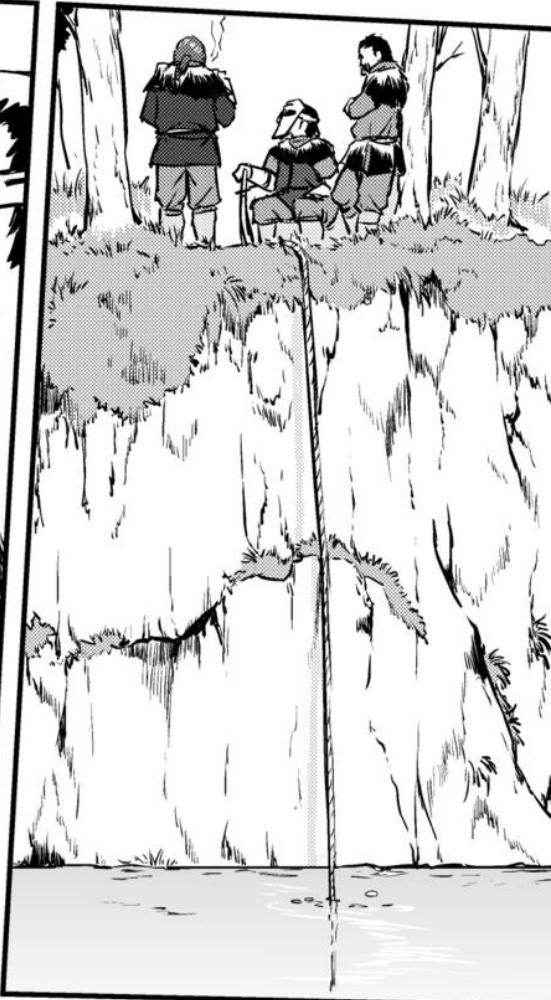
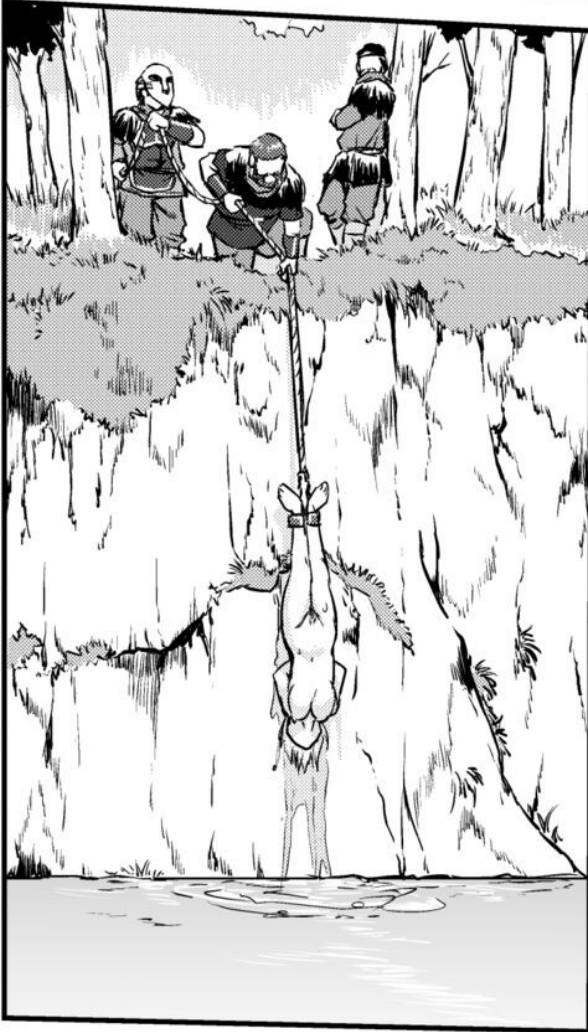
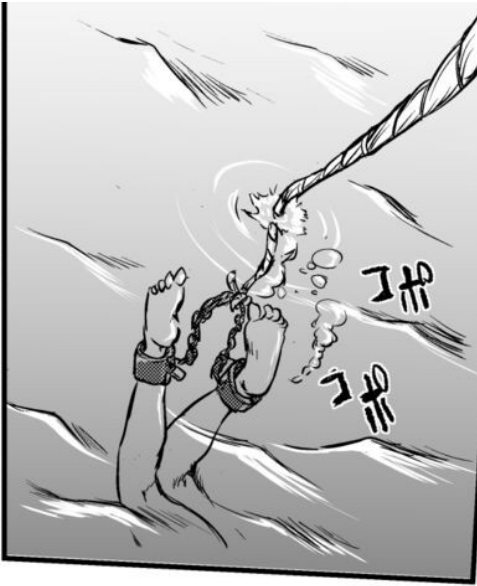


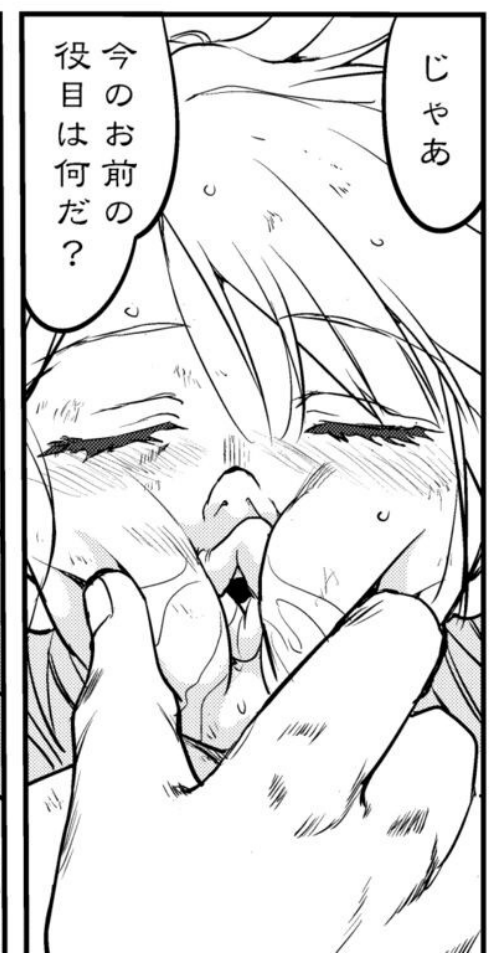
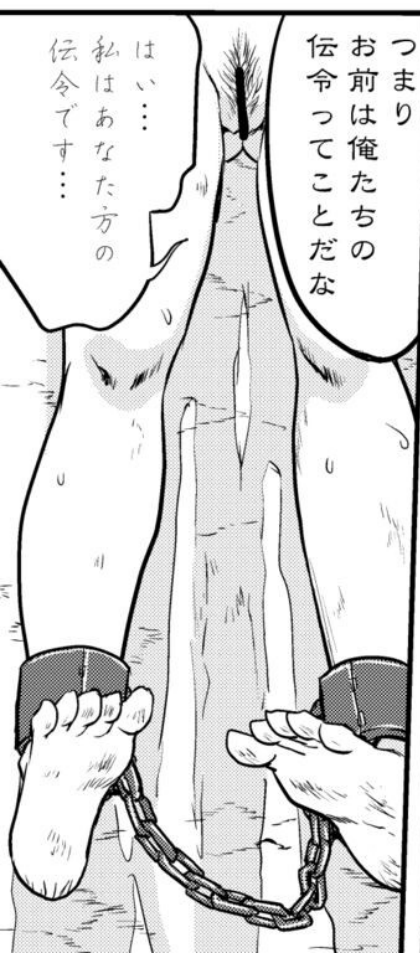
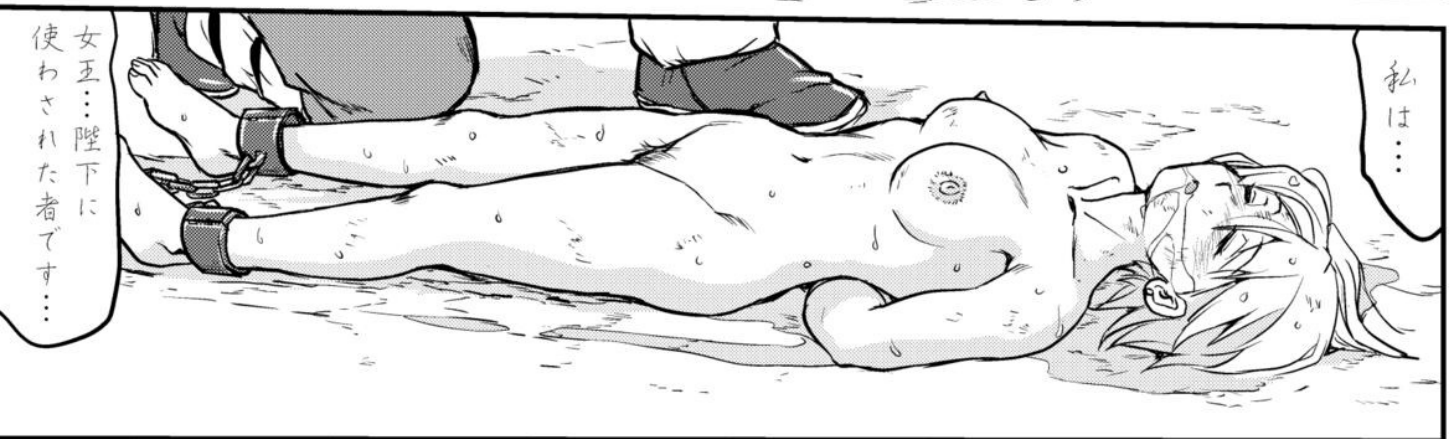












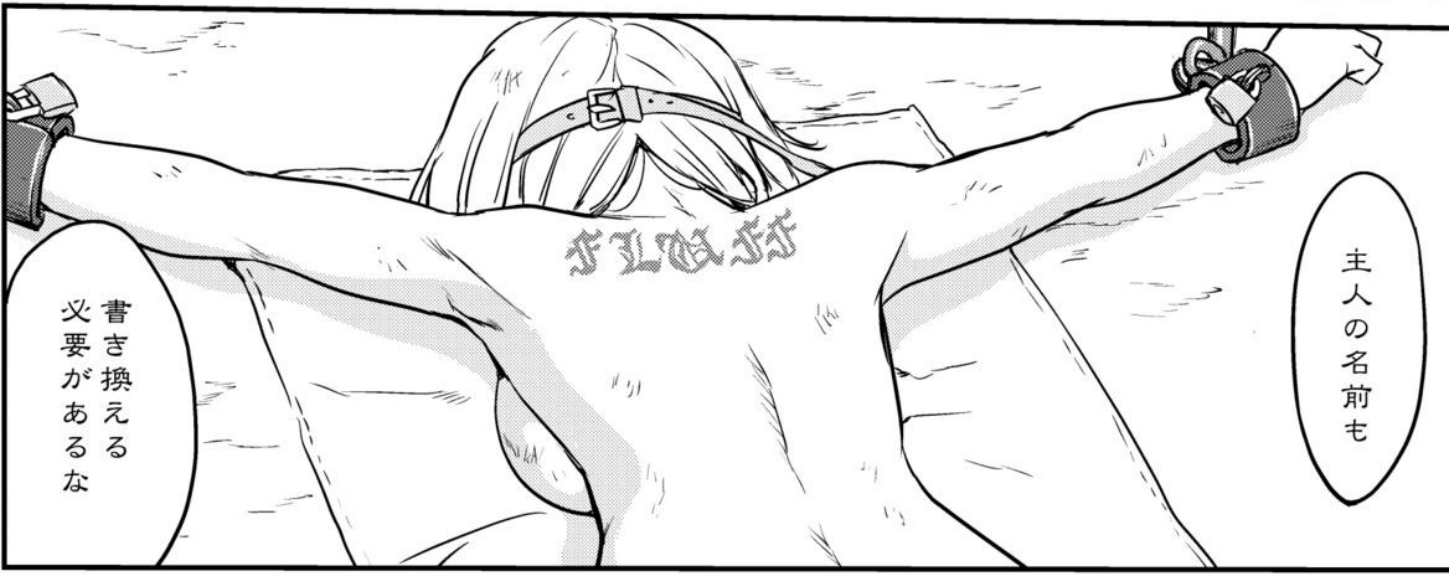


お前の
主は変わった
のだから

10千
10千



それなら



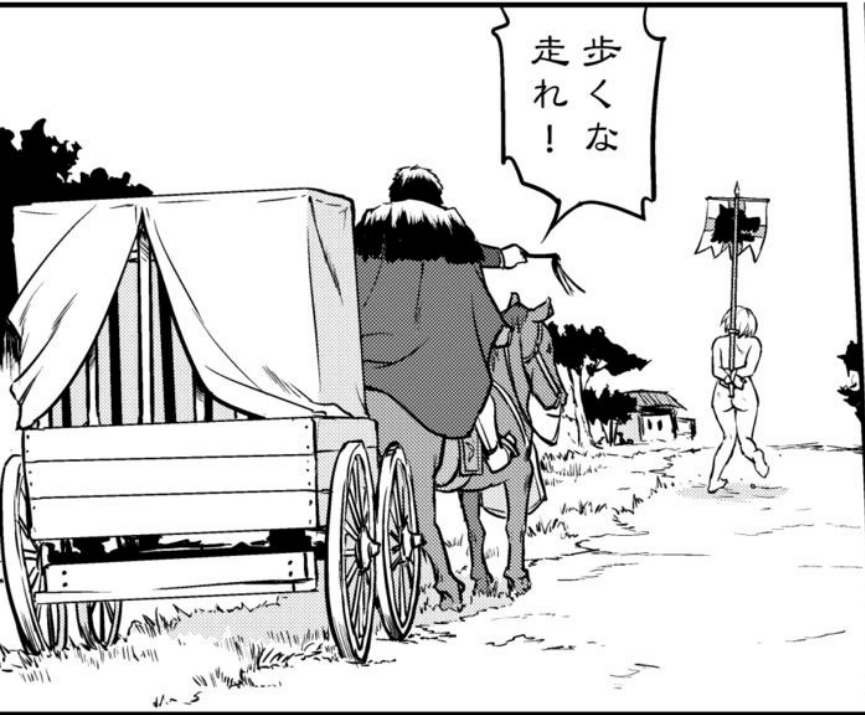
書き換える
必要があるな

主人の名前も



10千
10千



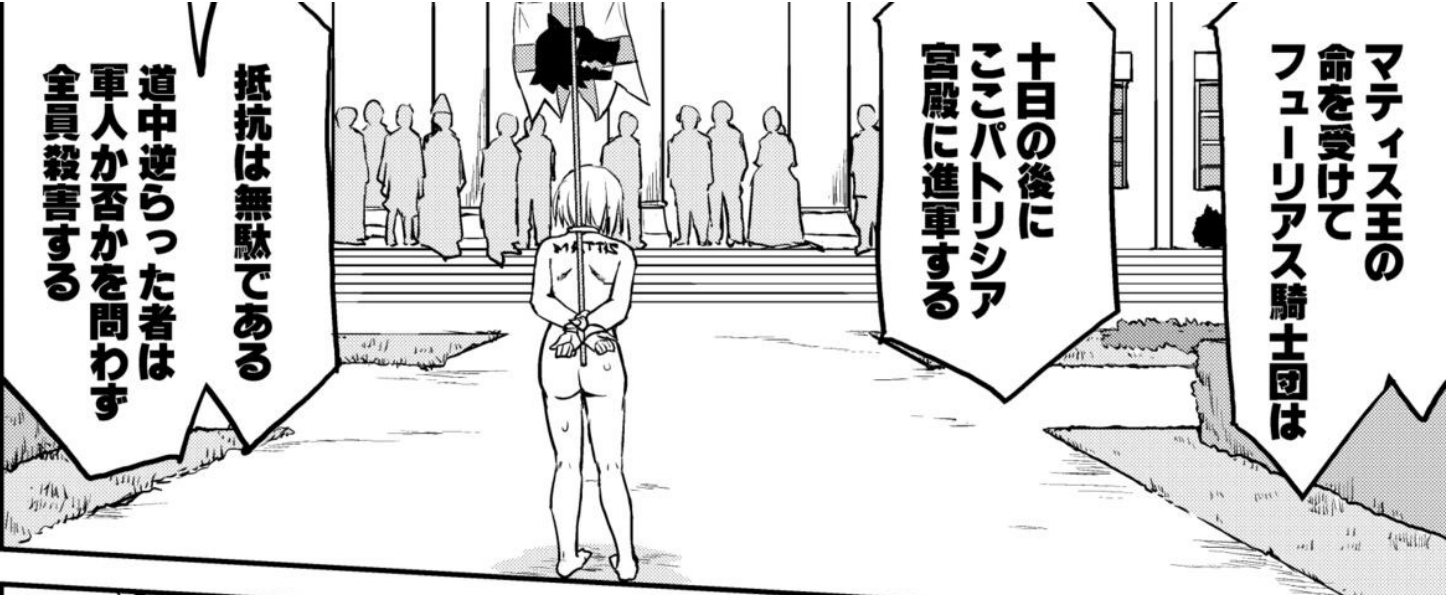


マティス王の命を受けて
フューリアス騎士団は

十日の後に
ここパトリシア
宮殿に進軍する

抵抗は無駄である

道中逆らった者は
軍人か否かを問わず
全員殺害する



何を黙って
見てるんです！

早く
近衛団長に
ガウンを！

陛下！

クッ



よせ
いらぬ

服は着ちや
ダメなんだ…



タイニー義姉さん
お可哀そうに…
酷い目に合わされ
たのですね

任務を
お願いした
私のせいです

もう
大丈夫ですよ！
早く城に入って下さい
すぐに介護を手配します

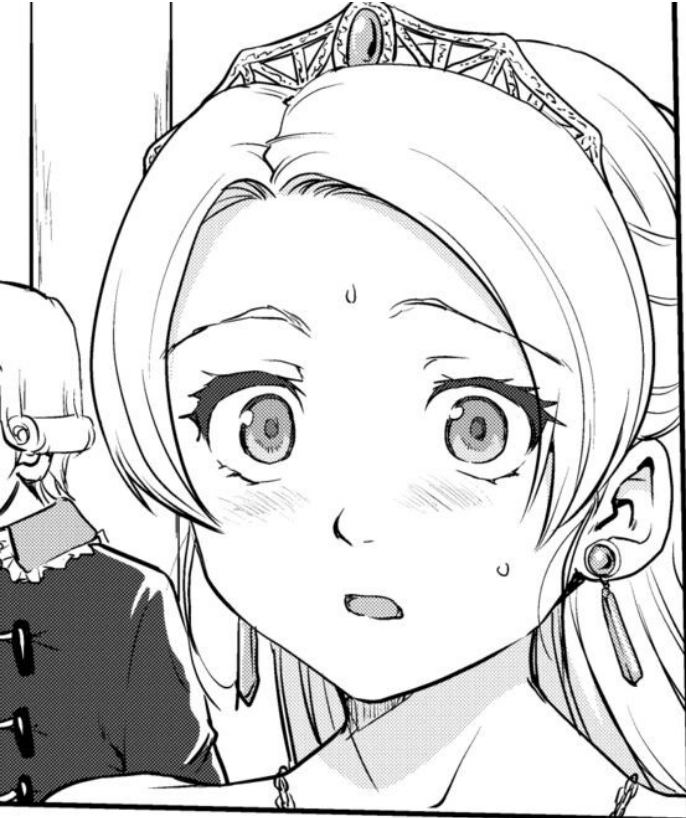
…フラッフ
ダメ…

このまま
戻って来いと
言われてる…



日暮れまでに
戻らないと

全身の皮を
剥がされてしまうの



あの…義姉さん
私達は
どう対処したら
良いのでしょうか



分からない…
話を通じる
のかすら…

部下も
いきなり襲われて
皆殺しにされた



行きます…
女王陛下…おめおめ
頼める立場では
ありませんが

フューリアスが
怖いです

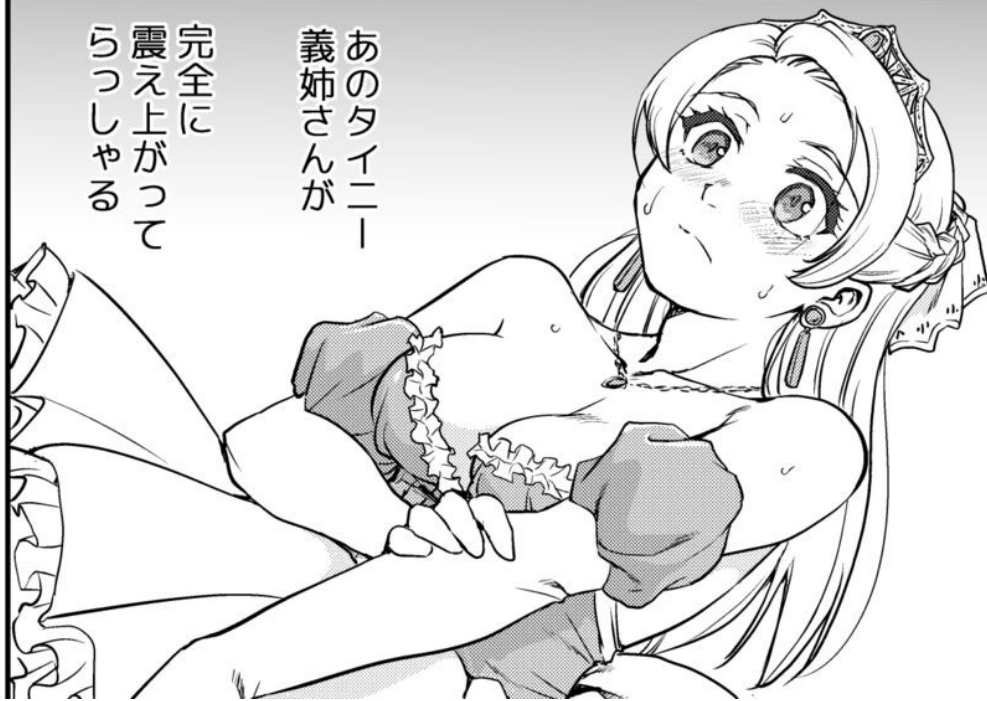
話し合いで
救出して貰えるのを
待っています



止められない…

あのタイニー
義姉さんが

完全に
震え上がって
らっしやる



グレス宰相

他の国へ
送った使者は
どうなってますか!



遺憾ながら
すでに敵の手回しが
行われたのか
どの国も平和的解決を
望むと言うだけで

具体的な協力は
何も得られてません

今回の件はあくまで
パトリシア国民からの
救援要請に応じたもの

マティス王は
他の国に進むつもり
は全くありません
これからも貴国と
未永い友好を望み
私を使わされました

こちらが明らかに
正しいのに
助けてくれる国は
一つもないのですか？

同盟を結んでるのに
これでは裏切りです！

いいえ

彼らが
賢いですね

戦いになったら
勝っても負けても
人が死ぬことになる

臣民を救うために
『政治的妥結』を
選択したのです

ここは陛下も習って
政治的知恵を発揮される
のが良いでしょう

フューリアスが怖いなら
王家はみな一旦国外へ
逃亡されては？

マティス王は老人です
そのうち死ぬでしょうから
それから戻ればよろしい

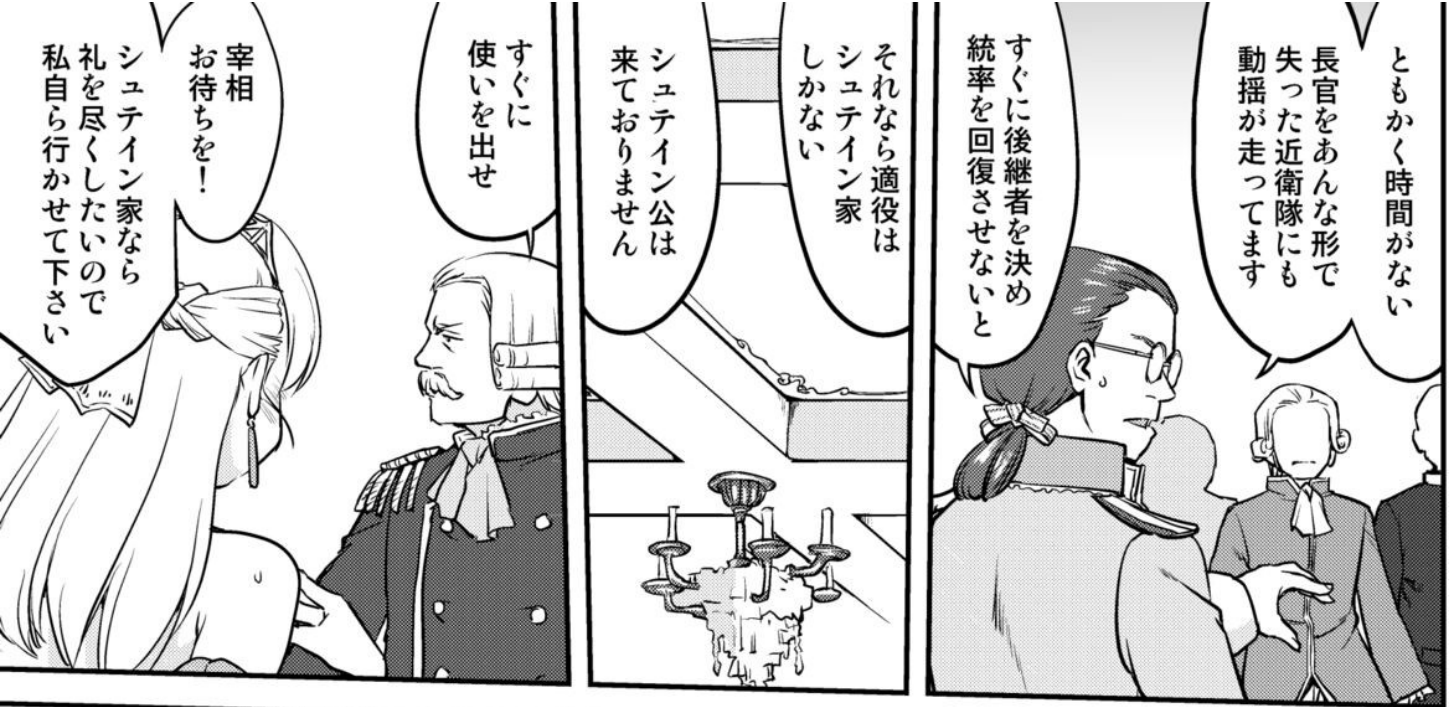
何ですこの者は！
人の皮を剥ぐと言う
ような相手に無抵抗で
国を明渡せと？

陛下の辛い気持ちは
痛い程分かりますが
勝ち目無いでしょ

何が分かるんです
不敵極まりない！
この男を
連れ出しなさい！

いや連れ出さなくていい
今はどんな意見も
排除すべきでない

彼はマティスにも
知人が多く顔が利く
この場に居て欲しい



ともかく時間が無い
長官をあんな形で
失った近衛隊にも
動揺が走ってます

すぐに後継者を決め
統率を回復させないと

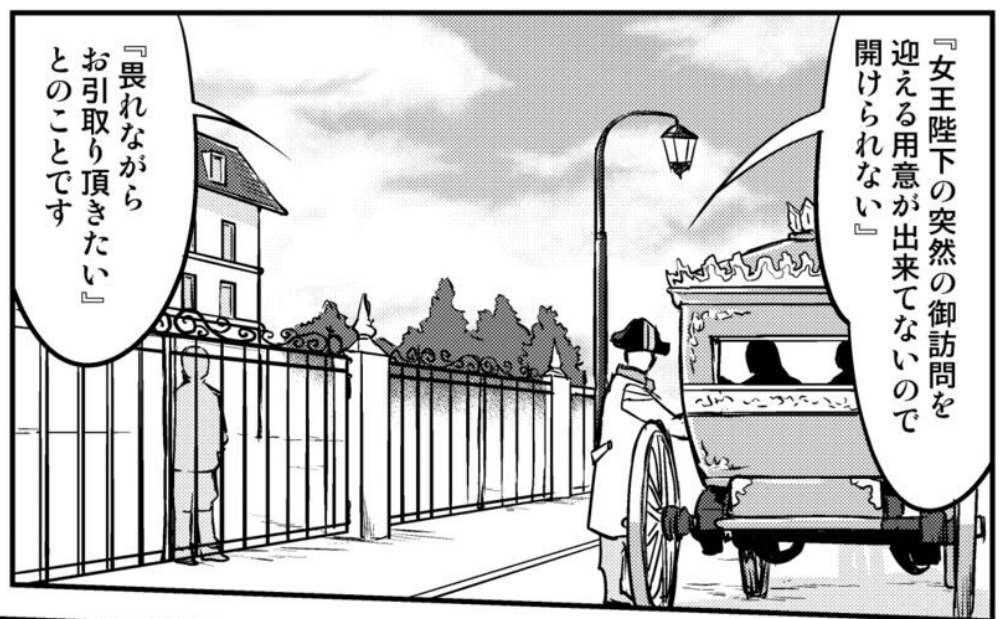
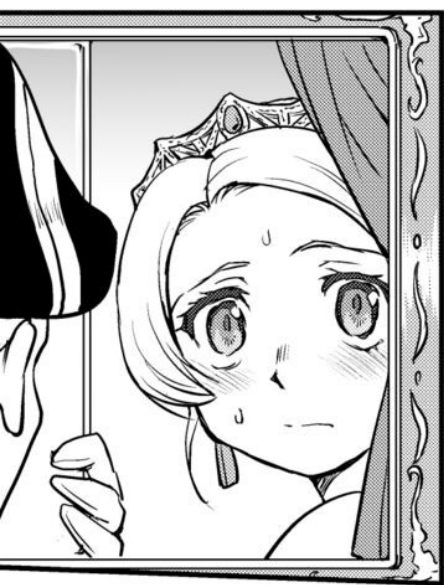
それなら適役は
シュテイン家
しかない

シュテイン公は
来ておりません

すぐに
使いを出せ

宰相
お待ちを！

シュテイン家なら
礼を尽くしたいので
私自行かせて下さい

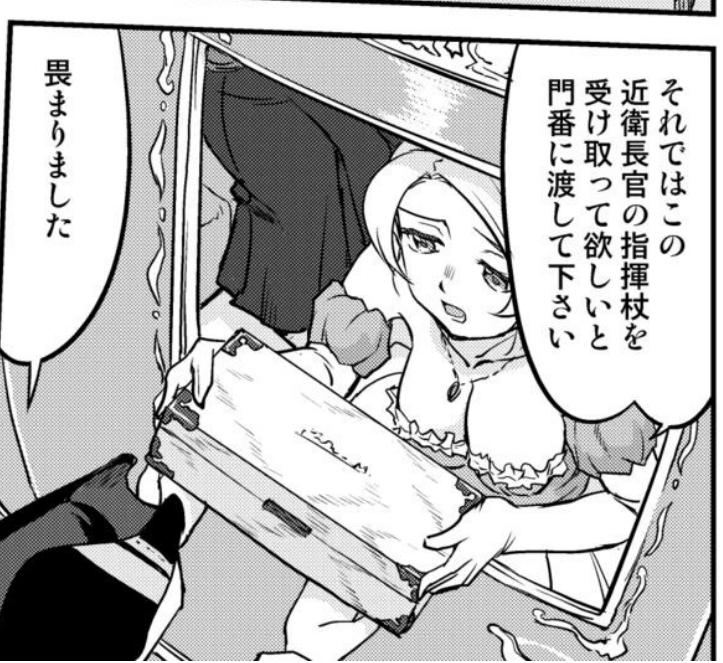
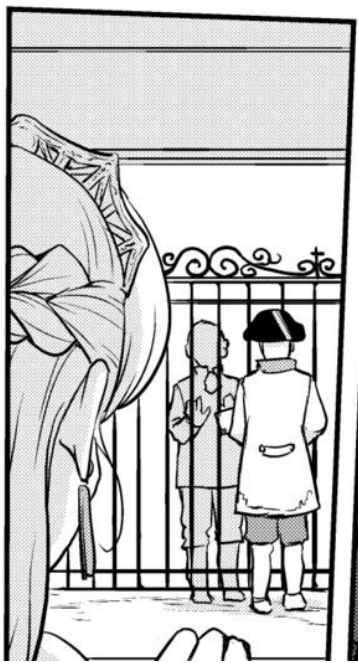


『女王陛下の突然の御訪問を
迎える用意が出来てないので
開けられない』

『畏れながら
お引取り頂きたい』
とのことですよ



あッ
女王陛下



それではこの
近衛長官の指揮杖を
受け取って欲しいと
門番に渡して下さい

畏まりました



ケイン！
私です
フラッフです
どうか
門を開けて
話を聞いて下さい

シュテイン家と
お父上にお詫びを
申し上げたいのです



フラッフ…

出てはいかん

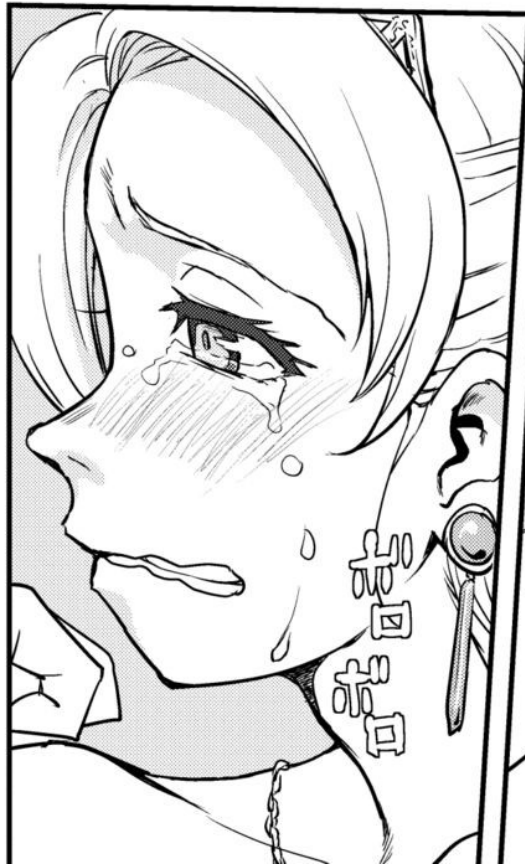


こうなった以上
シュテイン家は
新たな女王に冷遇され
王家と対立していた
という事が重要になる



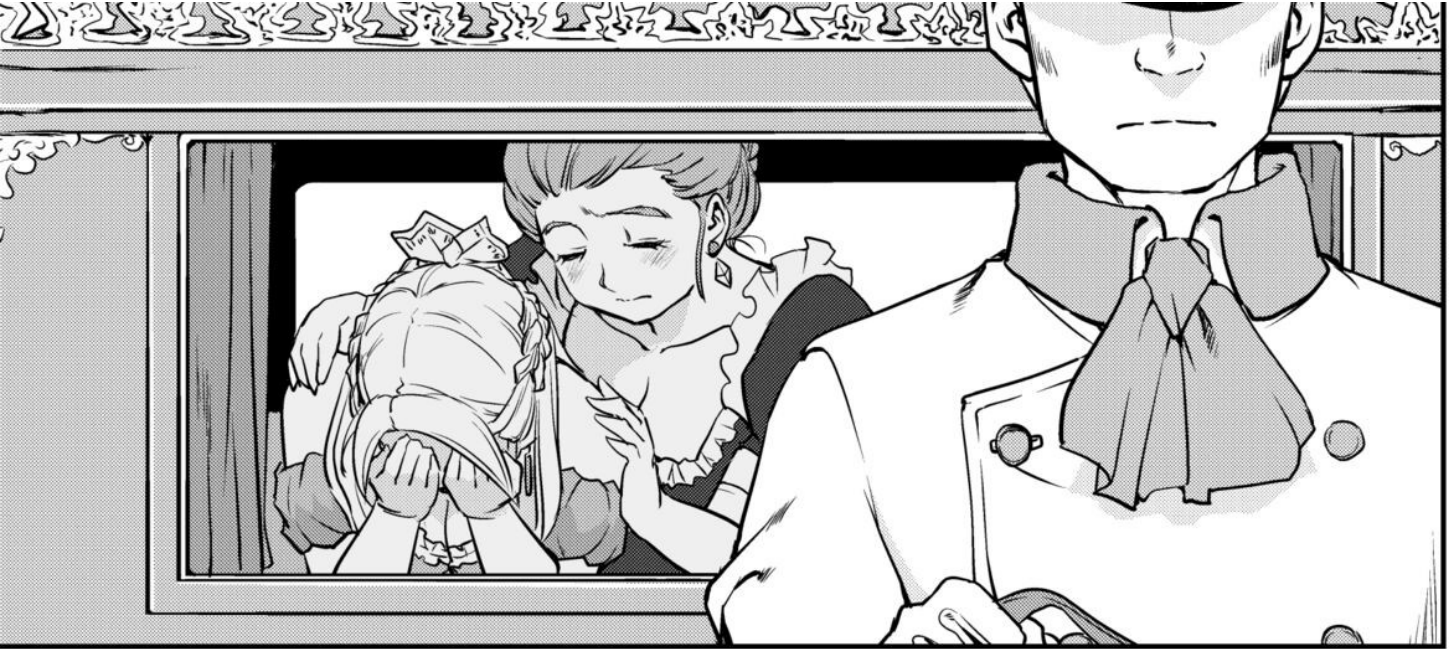
ガラ

ガラ



お
お





翌日
(フューリアス部隊の
入城予告まであと8日)



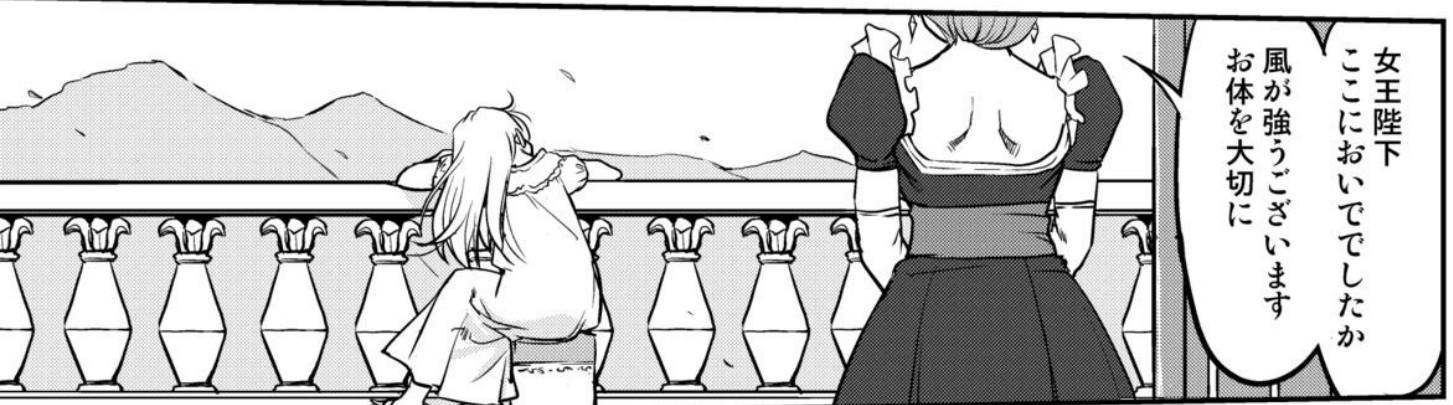
女王陛下は本日
体調が優れず
ご出席なされません

何だ
月経か？

そんな事
言ってる場合か！

もう時間が無いぞ
どうするんだ

我々で決めて
しまつては？



女王陛下
ここにおいででしたか
風が強うございます
お体を大切に



タチヤーナ御免ね
あなたのことも
守ってやれなくて

どうせ
あと数日で
みんな殺される

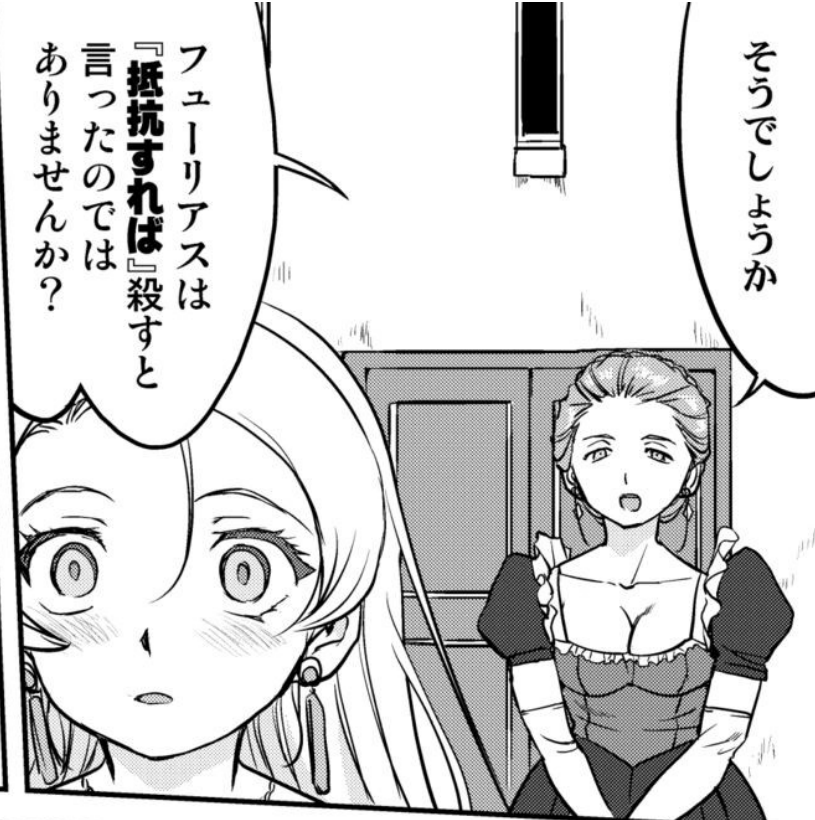
今さら風邪引いたって
どうでもいいわ

そうでしょうか

フューリアスは『抵抗すれば』殺すと
言ったのでは
ありませんか？

近衛団長も

ともかく
生きておいで
でした



でもタイニー
義姉さんは

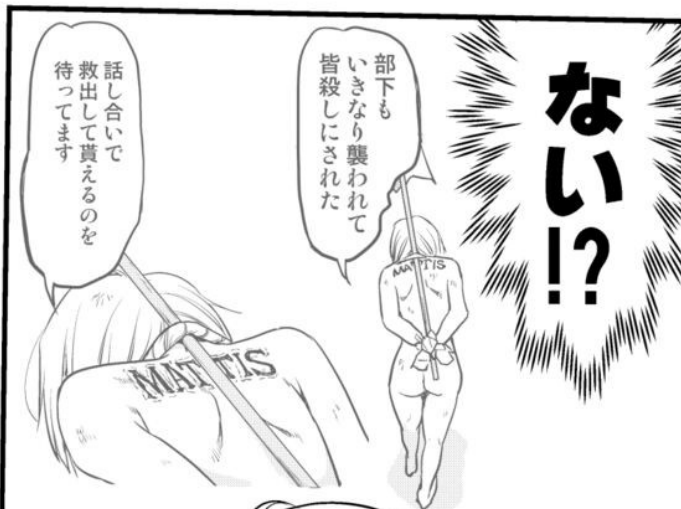
兵は無抵抗で
殺されたと
言ってる…



ない!?

部下も
いきなり襲われて
皆殺しにされた

話し合いで
救出して貰えるのを
待っています



義姉さんがあの状況で
逃げようとしなくて
引つかかったら…

恐怖のせいかと
思ったけど

もしかして
従う限り殺されないと
考えてたから…？



生きる！
られる！

もしかして
まだ

タチヤーン十
貴重な時間を無駄に
しちゃったみたい

急いで
着替えを用意して！

国民と私も
生き残るため
出来るだけのことば
やってみるわ

ハイ！
私もまだ夫を持たぬ身
死にたくありません
頑張ってください陛下

フューリアスとは
敵対しないことに
決めました

賢明なご決断です

もとより
他に選択肢は
ありませんでした

ついでに宰相
こちらを受け身だけでなく
積極的に行動し
彼らが城に来る
8日の間に敵意を鎮める
施策も打ちたいと思います

ほう

手配中の近衛団予備役の動員は中止し今の近衛隊も解散します

そして次の使節に国内の武器全てを持たせフューリアスに献上して敵対の意思がないと示します

完全に無防備にされるので？

一部は隠しておくという手もあります

いえ本気でこちらの誠意を見せましょう

そういう小細工が裏目に出たら悔やんでも悔やみ切れません

仰せのままにすぐ取り掛かります

え？意外とアツサリ…本当に思い切った大丈夫かしら…

次はある意味廷臣よりやっかいな王族の説得ね

応援しております女王陛下！

マティス政策の失敗を我々に押し付けるのか！

だから平民出身の即位には反対したんだ

フラッフ様の責任では有るまい先代王のツケだ

国宝級の品を贈ってはどうか

恥を知れ！

女に国を任せたのが間違いだった

心に蓋をして鳥の大合唱とでも思うことにするわ

もう決まったのなら勝手にすればいいでしょう
私達の知ったことではないです

ただし王族の安全と今の生活だけは保証してくださいね！

みんな
普段は上品で…

戴冠式も
祝ってくれた
のにな…

翌々日
(残り6日)

出発の
準備完了です

国内の目ぼしい武器庫や
倉庫にある武具らしきものは
根こそぎ積み込みました

グレブス宰相！
使節を自ら引受けて
いただいて感謝の言葉
もありません

正直
態度が冷たいと
忠義を疑った事を
許してください

そういうことは
思うだけで
口に出されない
のがよろしい



付きましては
出発前にひとつ
お願いが
ございます

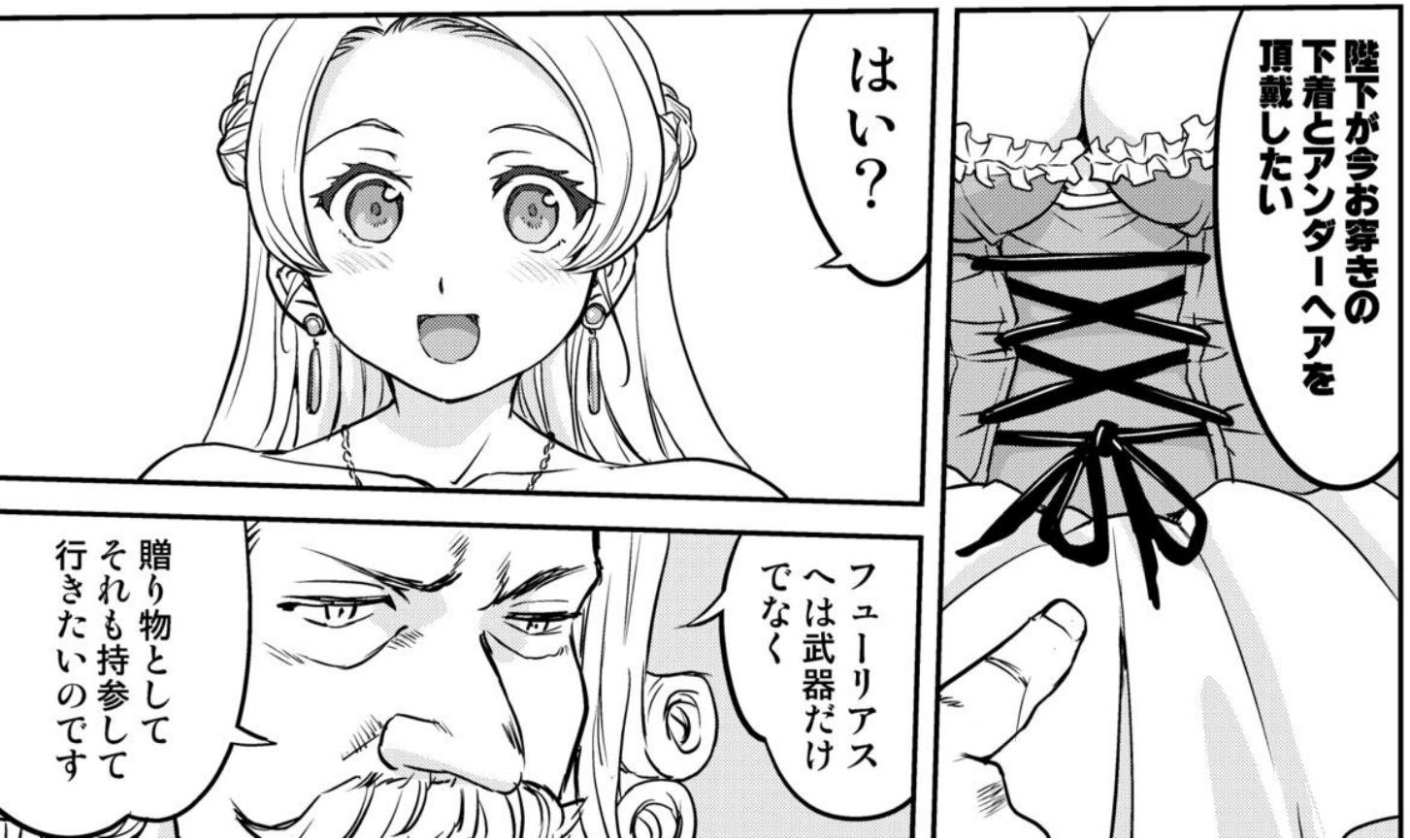
はい！
私に出来ることなら
何でも喜んで

陛下が今お穿きの
下着とアンダーヘアを
頂戴したい

はい？

フューリアス
へは武器だけ
でなく

贈り物として
それも持参して
行きたいのです



宰相！
ふざけない
でツ！

カッ

打つなら打って
私を罷免して下さい
私も命が掛かってます
最善は尽くしたい

カッとしちゃダメ！
今宰相をぶつなんて
とんでもない

ズ：ズロースを
渡すのが最善
なのですかッ！？

左様

お疑いであれば
列席の方々にも
伺って下さい

こ
こんな幼稚な手段に
効果があると思う
者はいますか！

効果は…

あ…ある！

女王の下着と
アンダーヘアの
献上は

ある意味
武器を渡すより
明確な非戦メッセー
ジになりうる

相手が
文化レベルの低い
野蛮人なら
一層効果的だろう

陛下
これは素晴らしい
アイデアですぞ！

ただし贈るなら
本物でなければ
ならない

教皇！

偽物と分かれれば
逆に相手を侮辱する
メッセーシとなり

宰相の命も
危うくなるでしょう

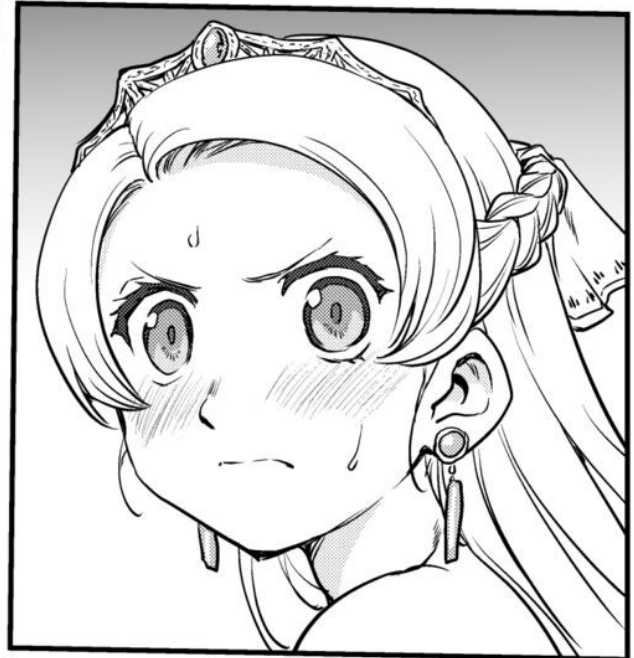
わ：分かりました：
本当は分かりませんが

それで少しでも
交渉が上手く行くと
紳士の皆様が仰るなら…

控えて用意してきます
しばらくお待ち下さい

いや

我々の目の前で
やって頂きたい



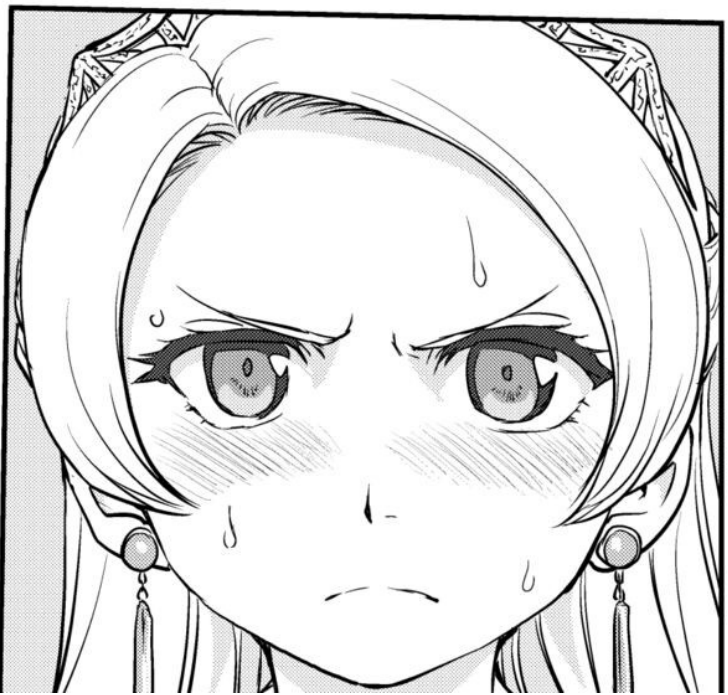
陛下
私は献上品の真偽について
拷問を受けるかもしれない

あるいは魔術の類で
自白を強要されるかも
しれない

だがこの目で
確認しておけば
何をしようと現に私が見た
事しか聞き出せ無いでしょう

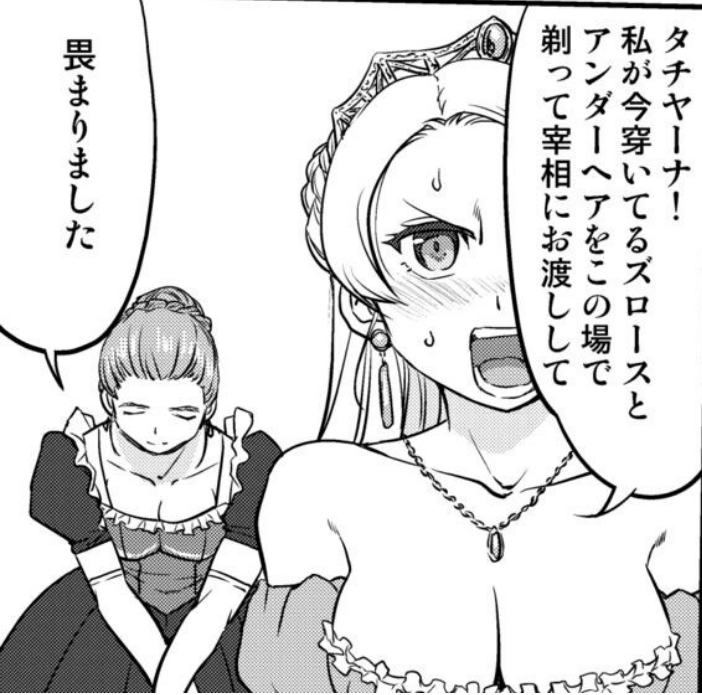
仮に私に
万一のことが
あっても

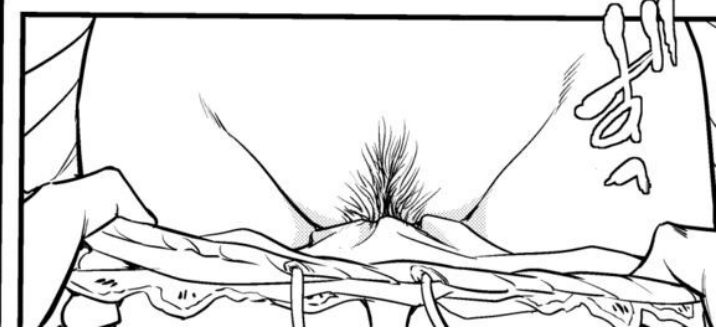
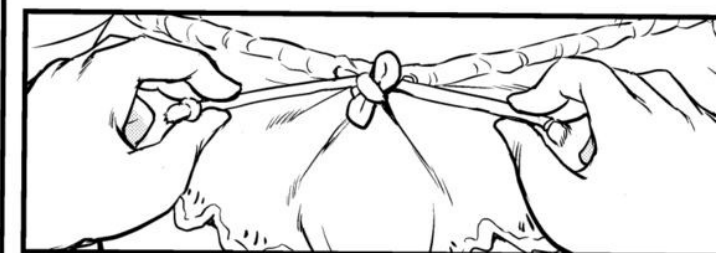
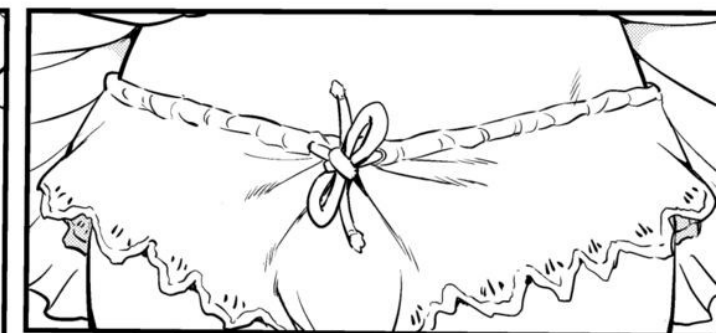
この
方々が次の
証人となる
でしょう



タチヤーナ！
私が今穿いてるズロースと
アンダーヘアをこの場で
剃って宰相にお渡しして

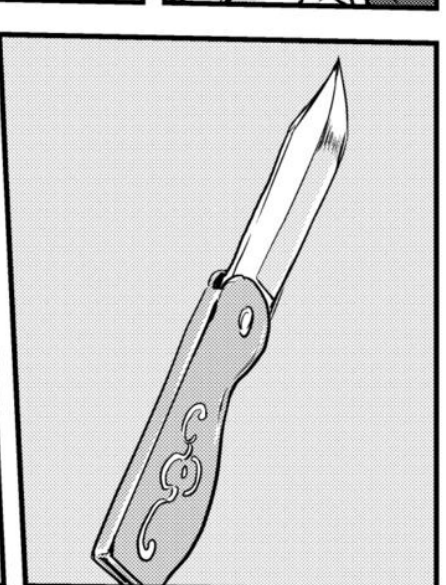
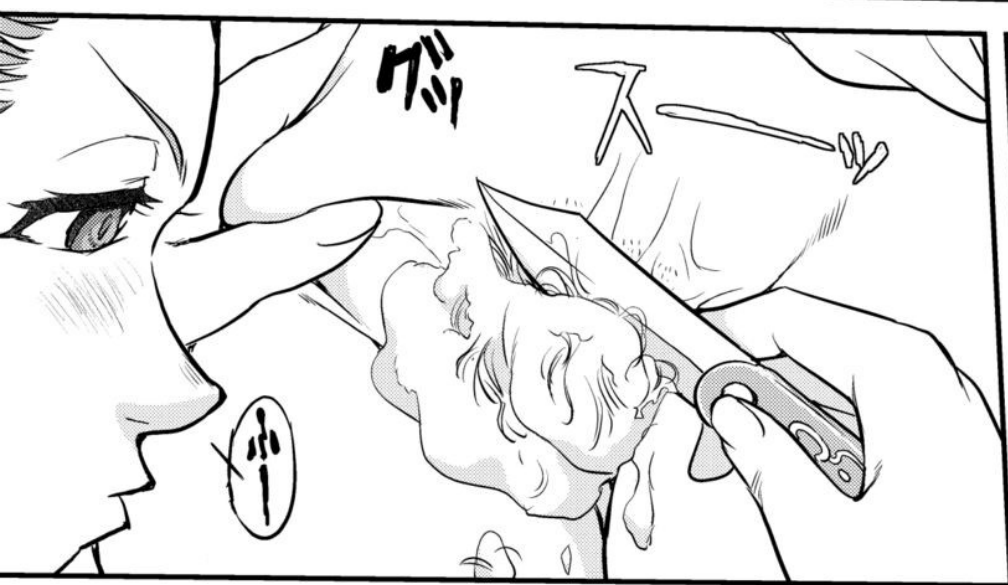
畏まりました



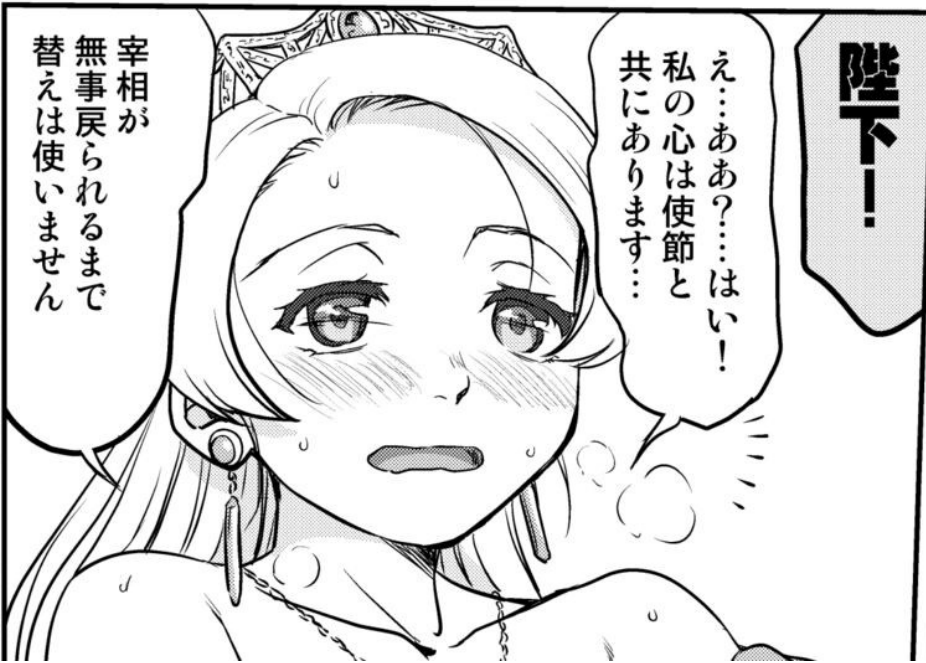
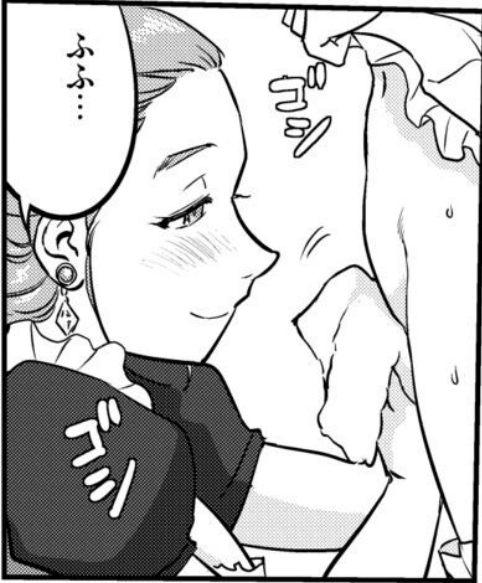
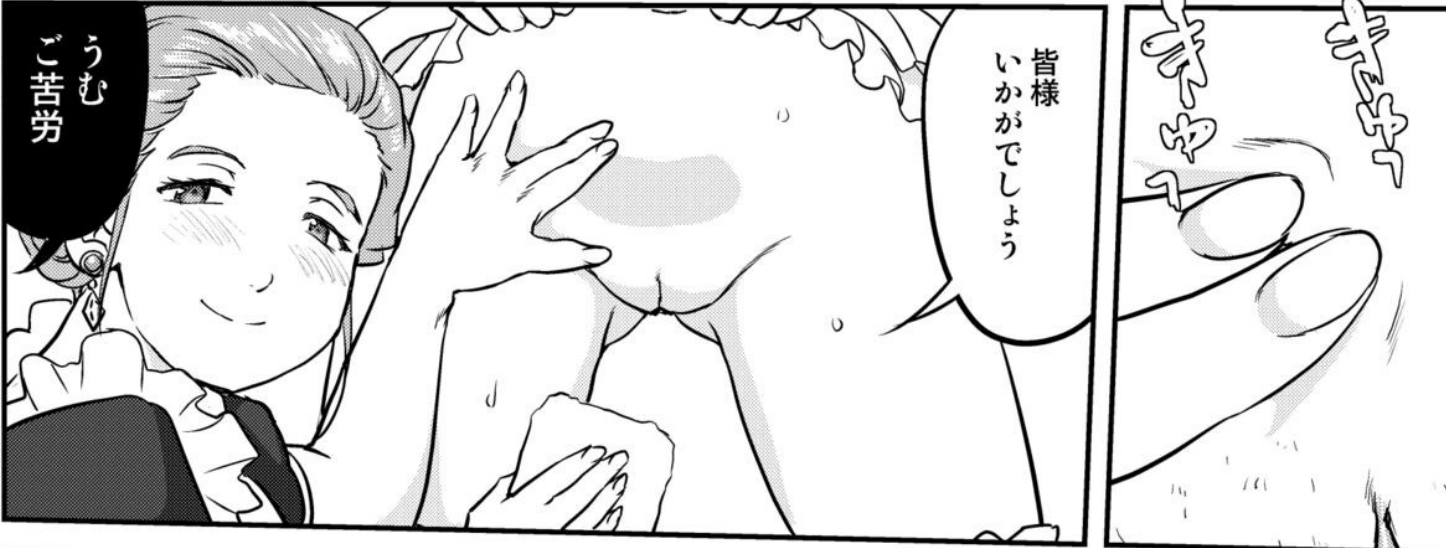


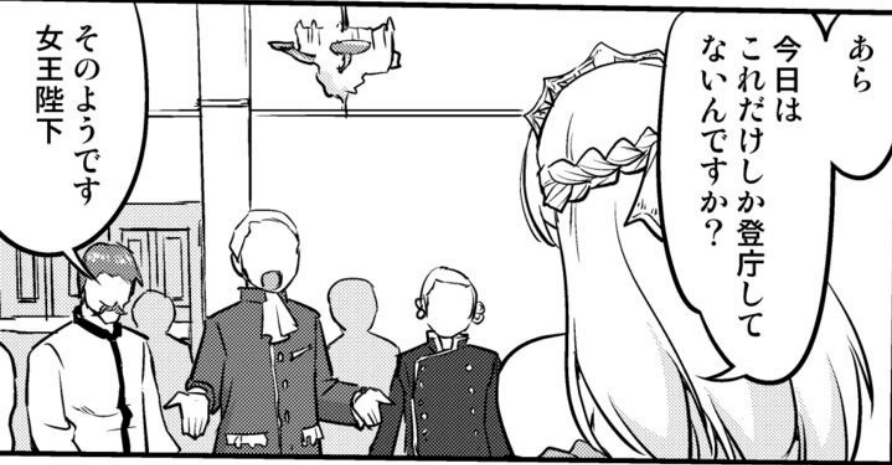
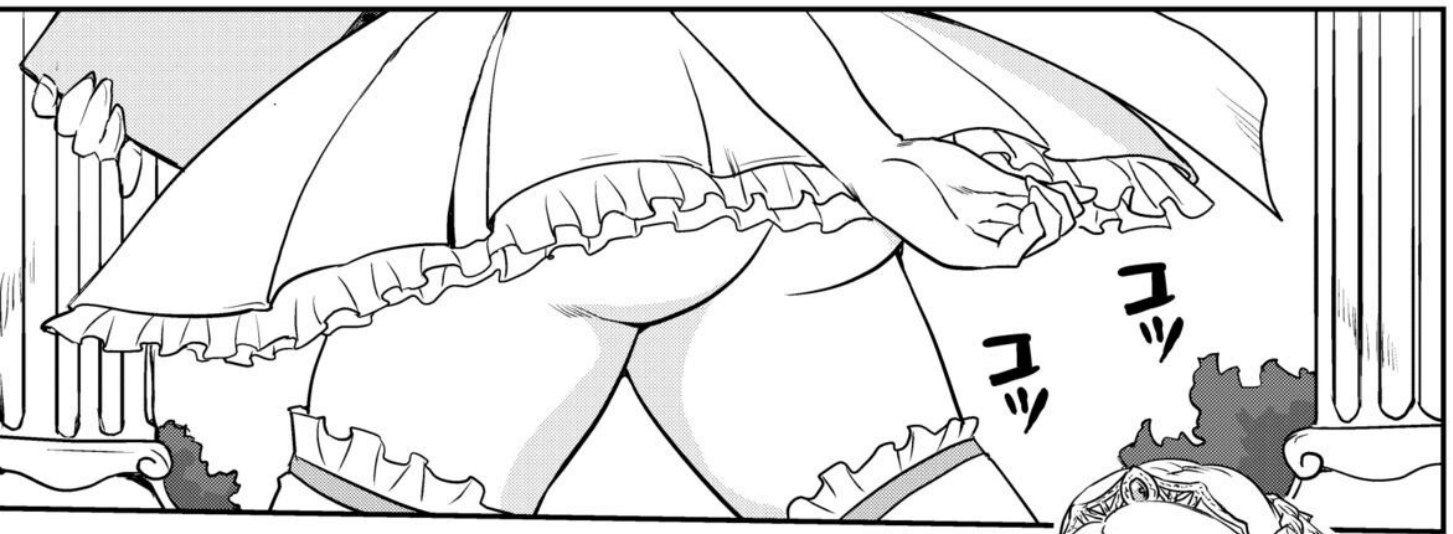


ご自身でお持ちになつて下さい



奥が剃りにくいので
もう少し
足をお開きに





そのようです
女王陛下

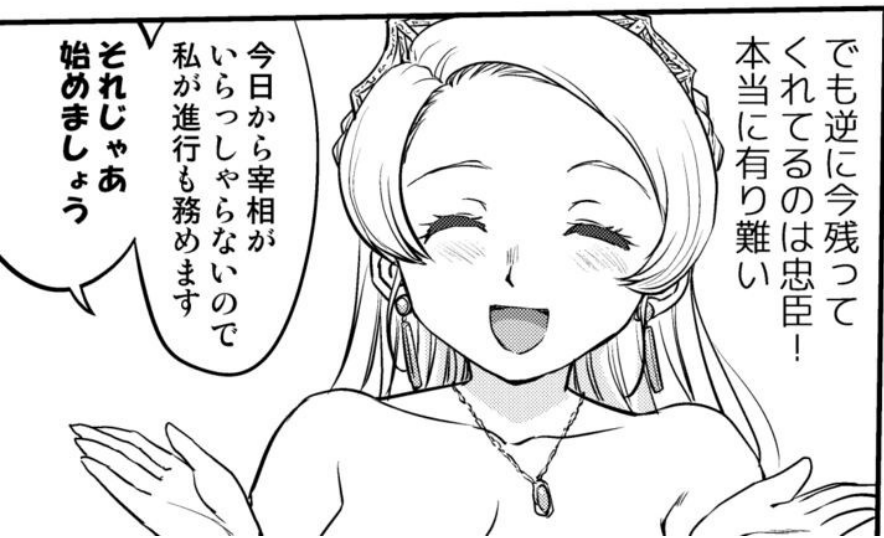
あら
今日は
これだけしか登庁して
ないんですか？

うー



そっか
昨日敵に降ると
伝えたから

見切られたって
ことね…

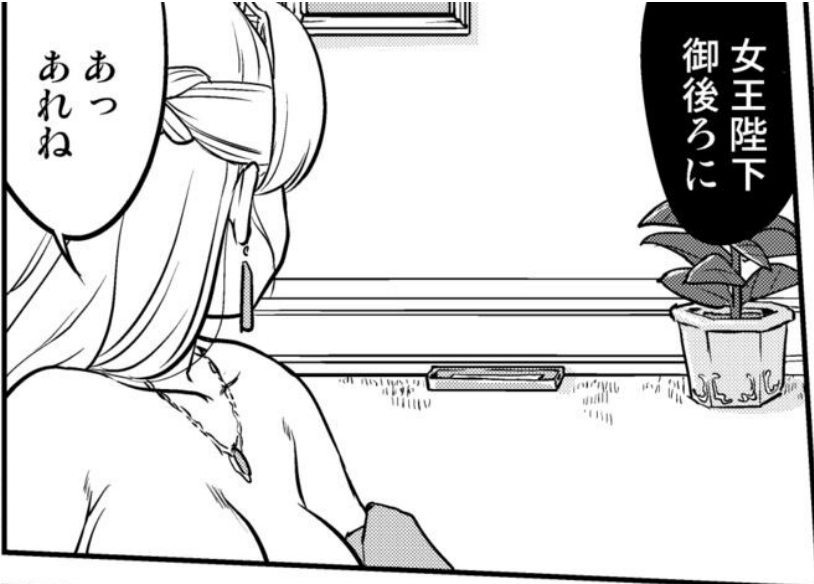


今日から宰相が
いらっしやらないので
私が進行も務めます
それじゃあ
始めましょう

でも逆に今残って
くれてるのは忠臣！
本当に有り難い



風がアソコを抜けて
スースーする



あつ
あれね

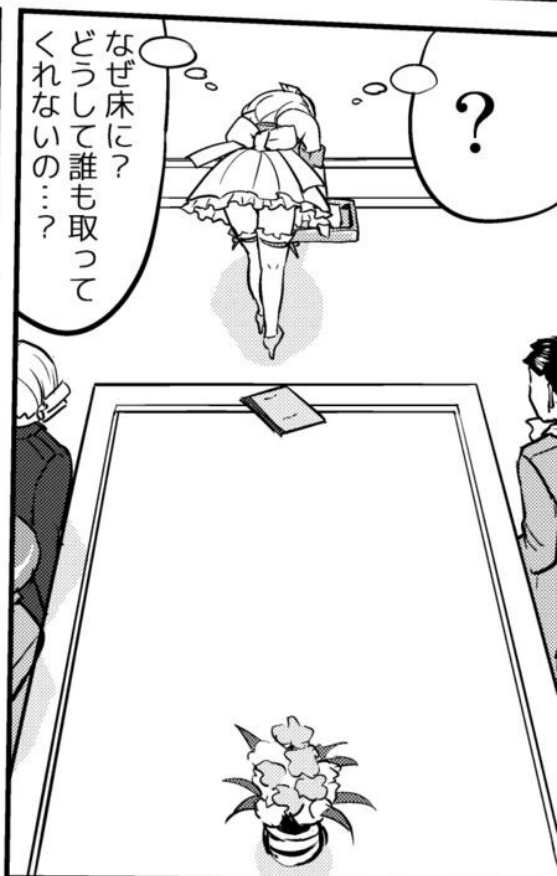
女王陛下
御後ろに



えっと
朝の日報は
どこかしら？



は



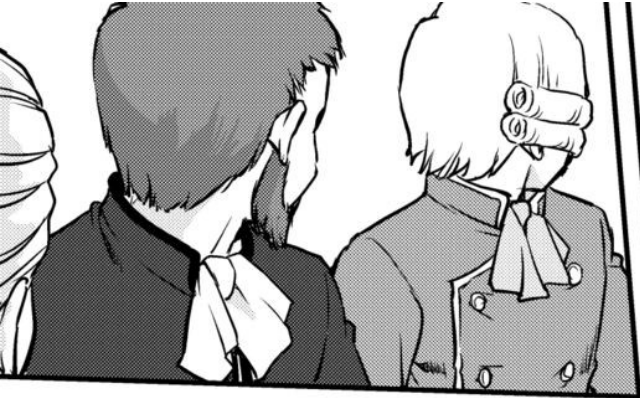
なぜ床に？
どうして誰も取って
くないの...？

どうも...
怒る？

怒る？

いや
でも彼らは

窮地でも
残ってくれてる
人たち...



貴方たち
誠意の証人にな
ってよね!

もうー!



朝礼
始めましょう

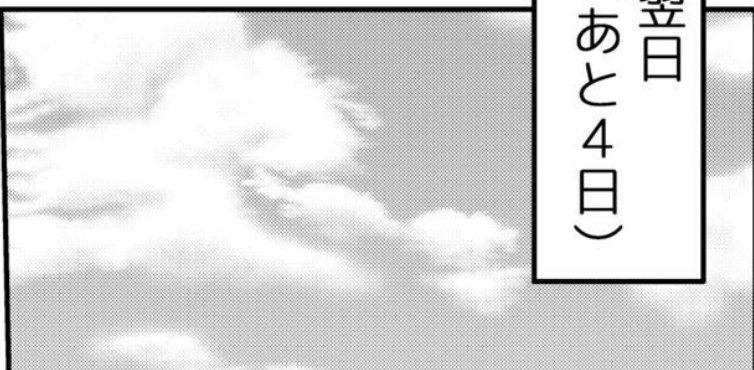
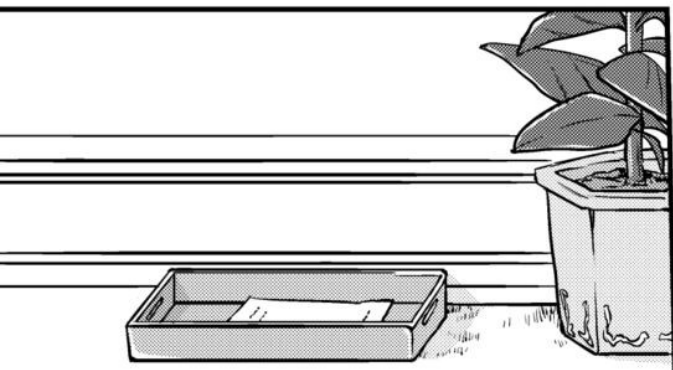
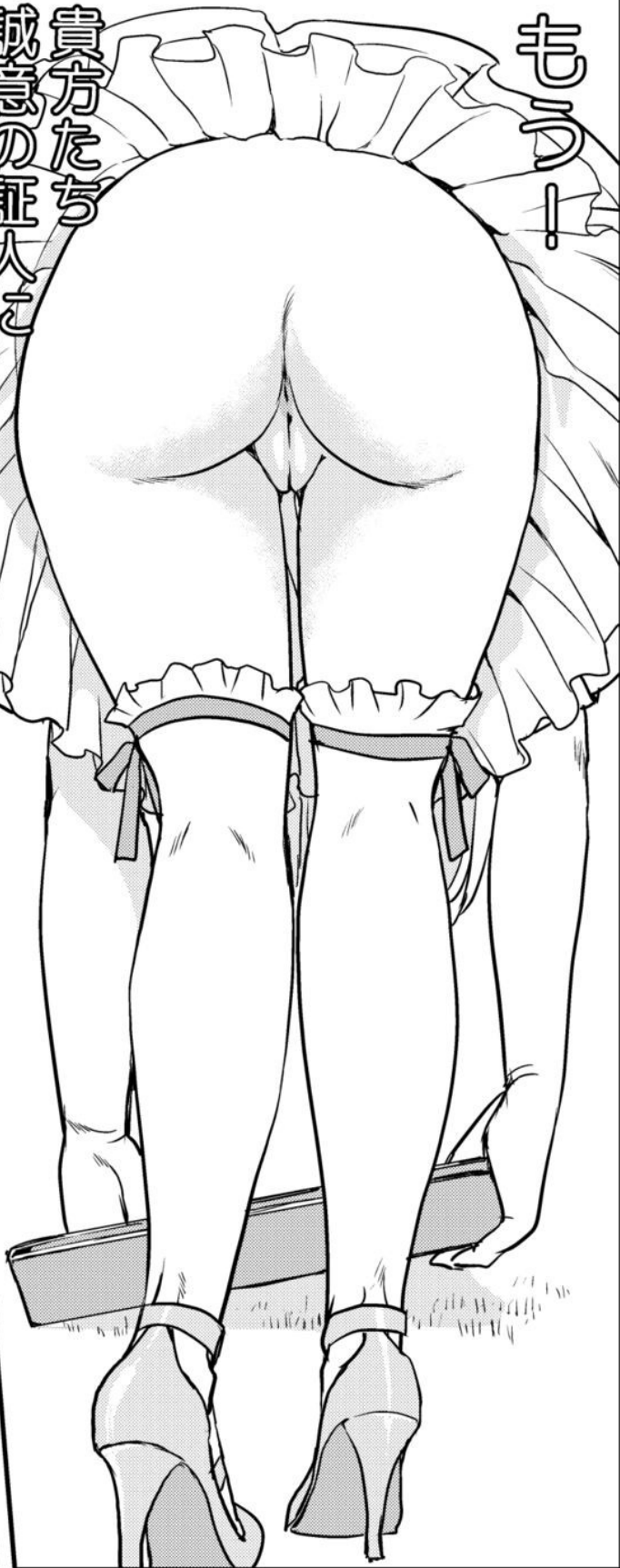
さ



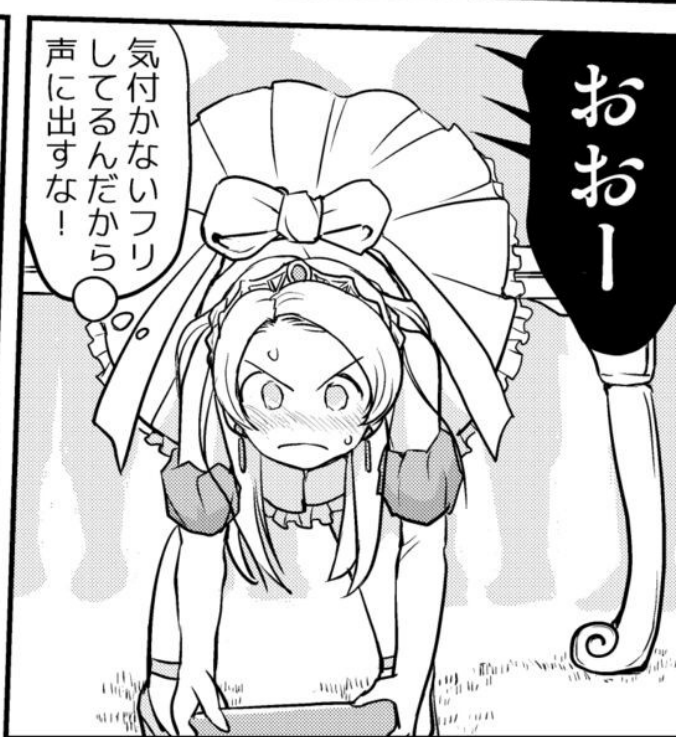
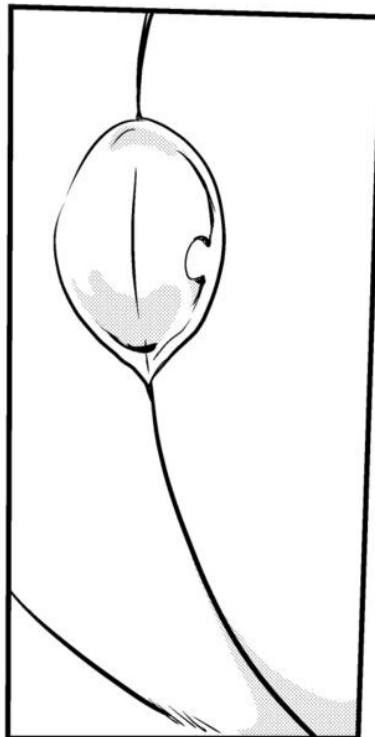
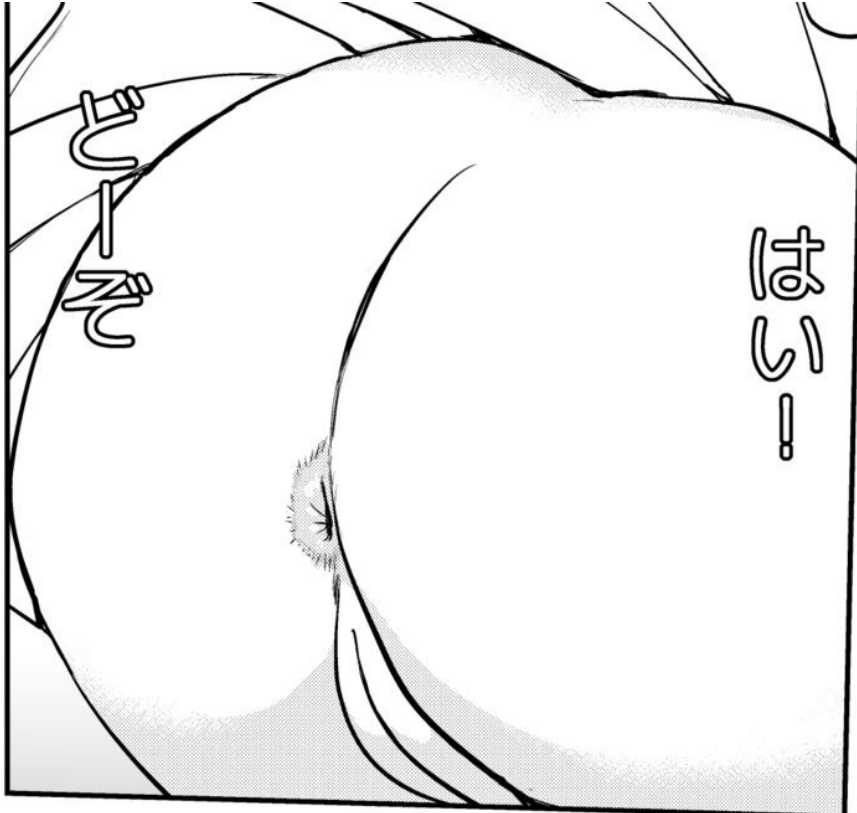
国家存亡の
危機なのに

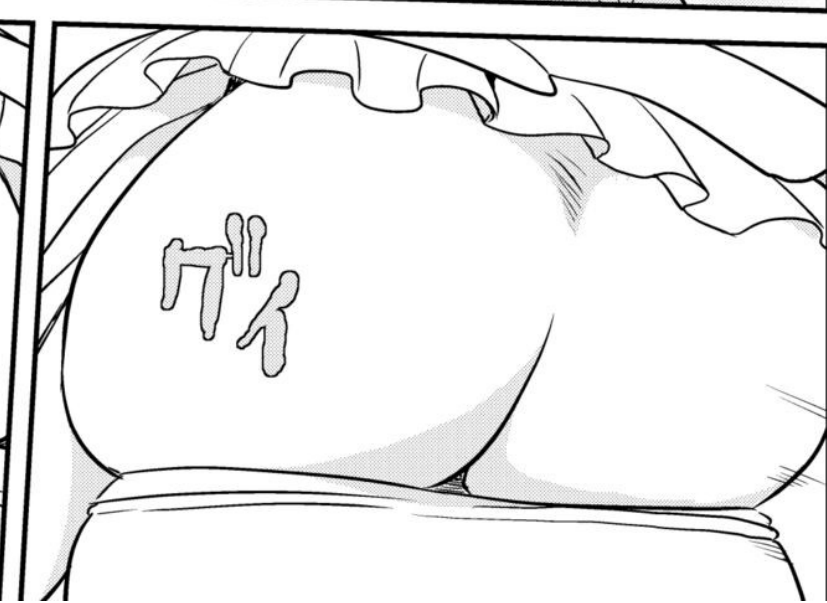
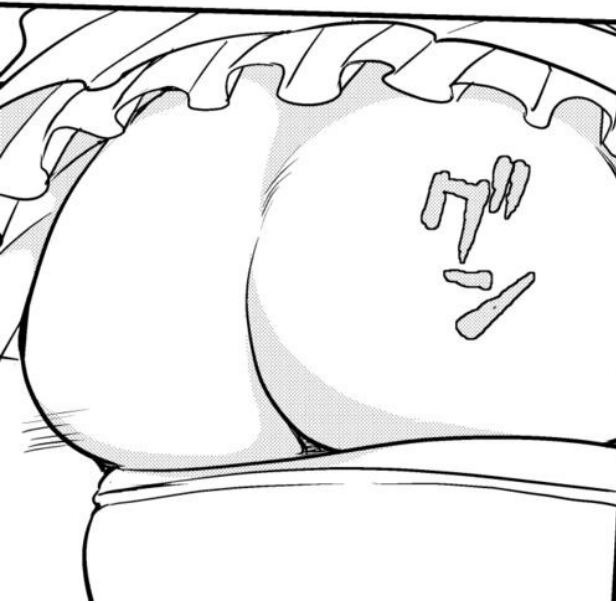
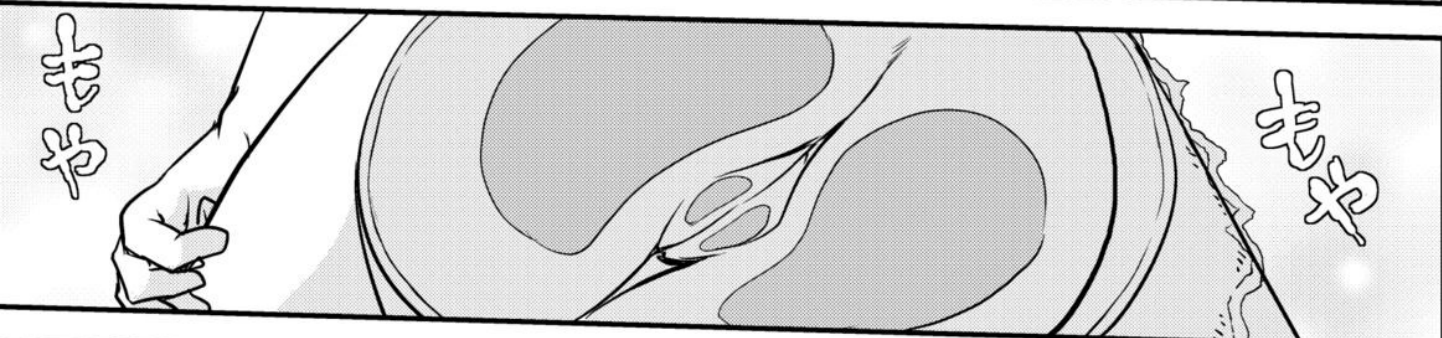
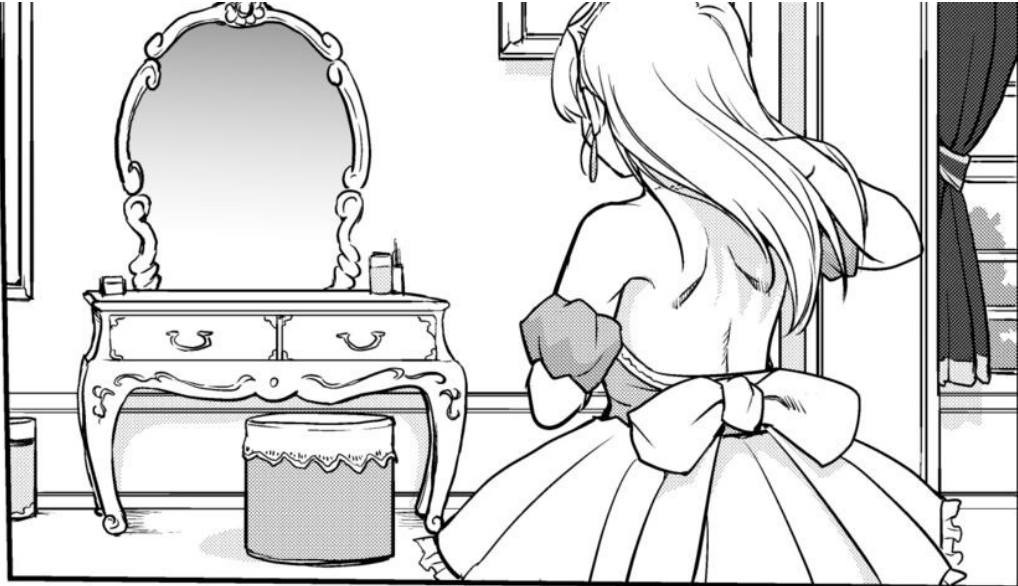
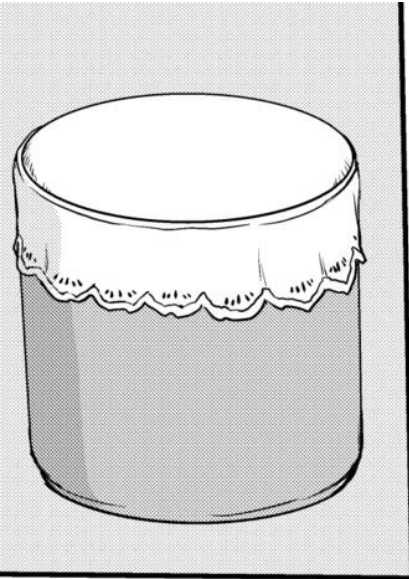
ははは

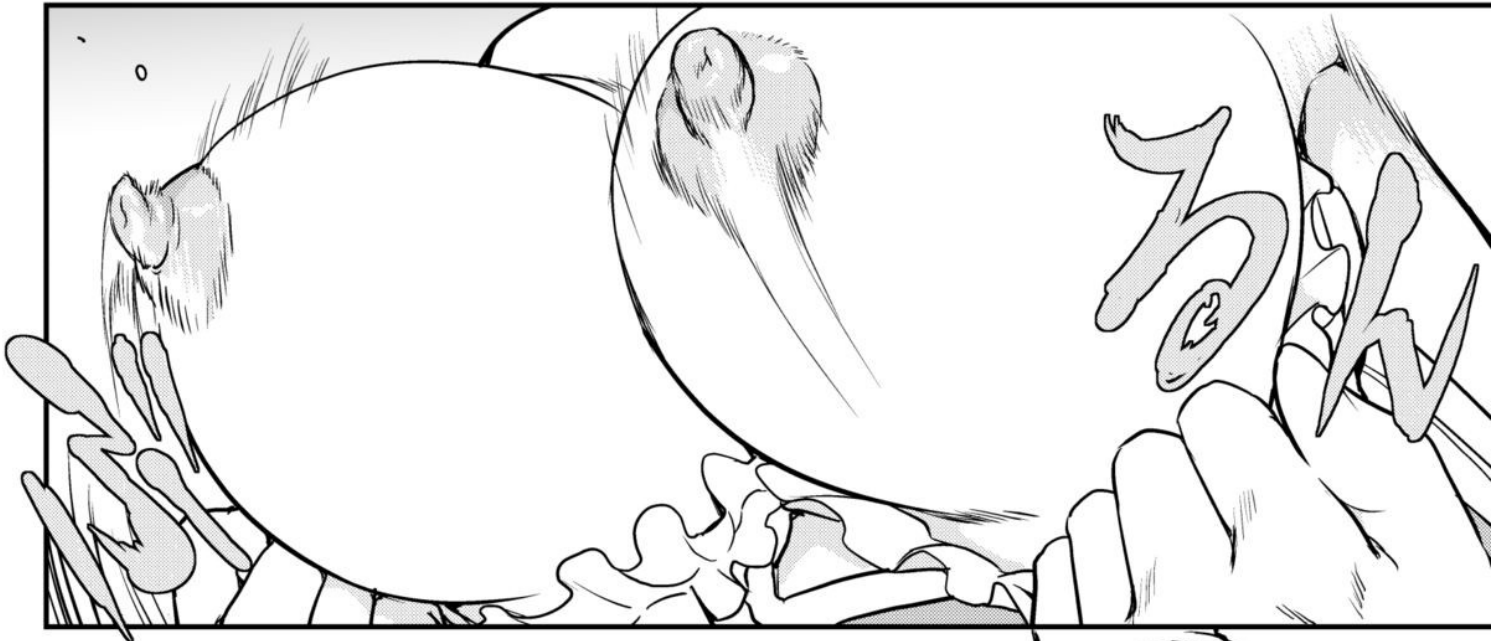
なんか
穏やかな空気に
なってる...



翌日
(あと4日)









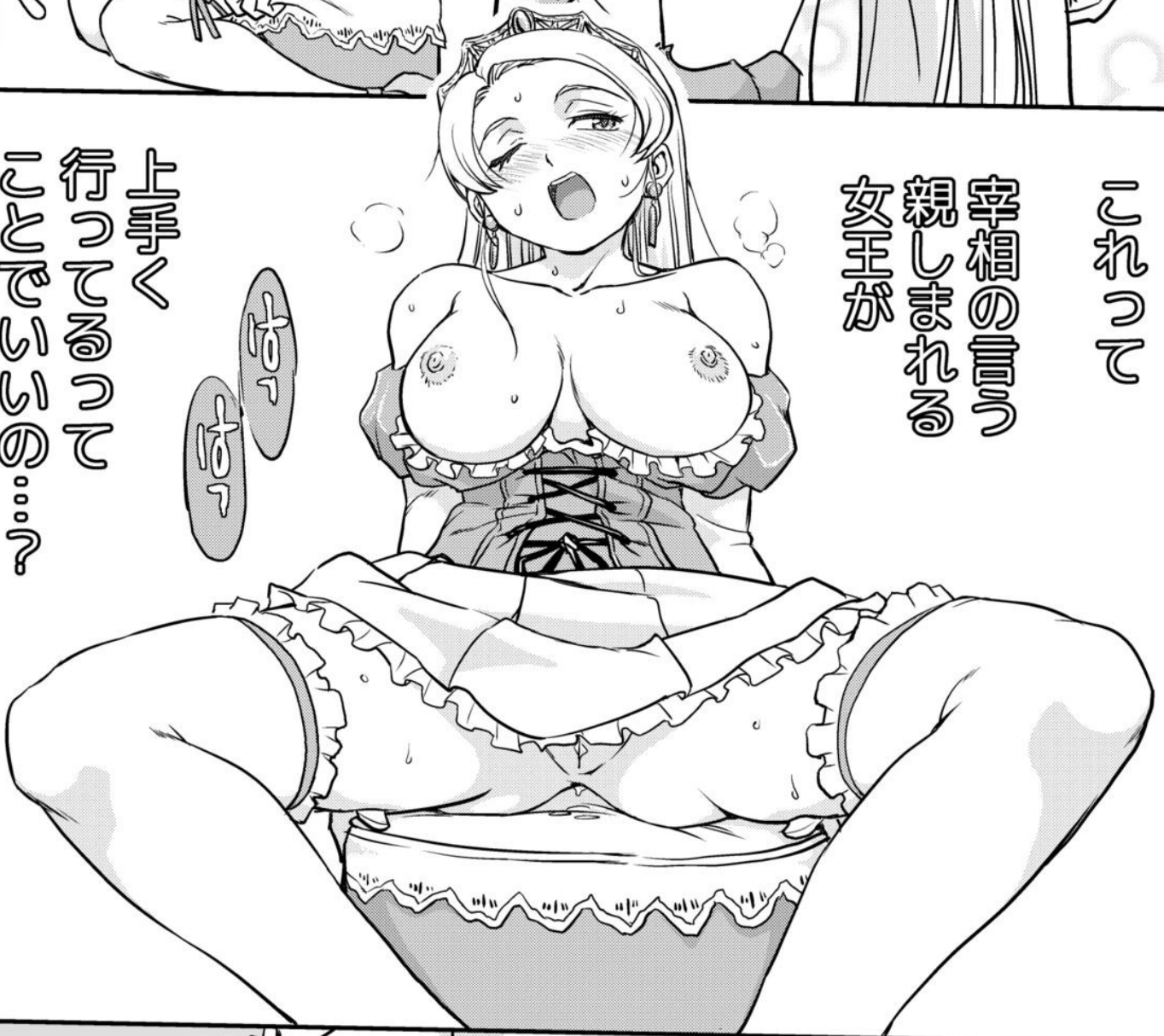


これって

宰相の言う
親しまれる
女王が

上手く
行ってるって
ことではないの…?

はー
はー

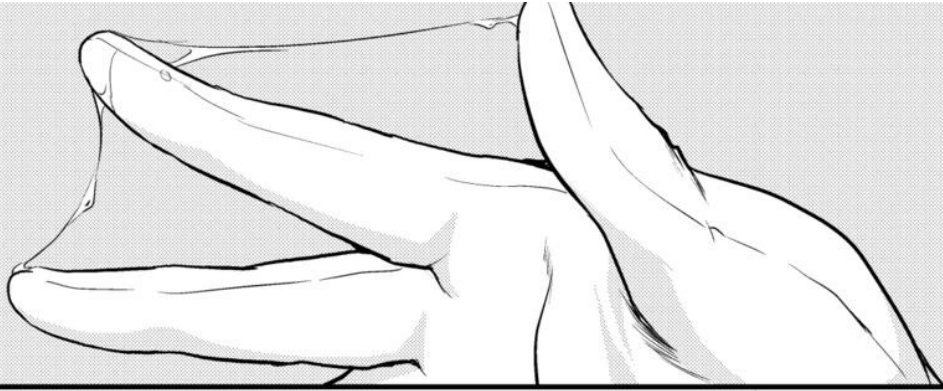


私は
まだ若くて

体も健康で

くちや

人生は
これから



フフ…

死んで
たまるもん
ですか



『女王陛下の降伏 デッドオアアライブ編』終わり
『占領編』へ続く

後書き

どうも蛸壺屋です。

最近の男性向け同人はオリジナルが流行ってるということで今回は久々にオリジナルで描いてみました。オリジナルなので世界説明のためストーリー性は高目です。

「蹂躪されるお姫様」的なテーマで描きたかったことを描いてみようと思いました。まずは導入部で終わった感じですが、好評なら「占領編」「調教編」みたいな3部作になるかななどと思ってます。個人的には主人公フラッフ女王様は結構気に入ってますので構想のラストまで描けたらいいなと思います。

架空世界物語は自分の中でリアリティを感じて1ページ目に取り掛かるまでが大変ですね。事件も解決も必要なかったものを強引に作り出すわけですから。そのせいで過去一番のタイトスケジュールになるまでネームが遅れてしまいました。ただ一旦描き始めたらパロディと違って原作との設定や間違い探しに時間を取られるということもなく思うままにガリガリ描いていけて、ある意味楽でした。パロディとどっちが難しいということはなく強いて言えばその時のモチベーションの高い方が描きやすいという感じでしょうか。

コミケ101もまだまだ制限続きで、もう完全には元に戻らない気さえしてきますが準備会も頑張ってギリギリの開催をやってるのでしょうから、一サークルとしては世の流れに身を任せるより他ありません。

ともかく、またこうして（多分）本が出せたので無事年末を迎えれそうです。それではまた2023年にお会いしましょう

誌名 女王陛下の降伏 デッドオアアライブ編
(ダウンロード版)

発行者 蛸壺屋

発行日 2022年 12月31日

ご意見ご感想は下記アドレスまで
URL <http://takotuboya.jp>
E-mail tk@takotuboya.jp
Twitter @takotuboya
Pixiv 1108775
Circle.ms 10018834

女王陛下の降伏 デッドオアアライブ編

戦火



TAKOTUBOYA

Adult Only